



**Cisco Unified IP Phone 7961G/7961G-GE
および 7941G/7941G-GE 電話ガイド
for Cisco Unified Communications
Manager 6.1 (SCCP/SIP)
(ライセンスおよび保証規定を含む)**

電話機の一般的なタスク

電話機でオンラインヘルプを表示する	 を押します。
コールを発信する	番号をダイヤルする前後にオフフックにします。
番号をリダイヤルする	[リダイヤル] を押します。
コール中にハンドセットに切り替える	ハンドセットを取り上げます。
コール中に、スピーカまたはヘッドセットに切り替える	 または  を押し、ハンドセットを置きます。
電話機をミュートにする	 を押します。
履歴を使用する	 を押し、履歴を選択します。ダイヤルするには、リストを強調表示し、オフフックにします。
番号を編集する	[編集] << または >> を押します。
コールを保留 / 復帰する	[保留] または [復帰] を押します。
コールを新しい番号に転送する	[転送] を押し、番号を入力してから、 [転送] をもう一度入力します。
インターコム コールを発信する	インターコム ボタンを押し、必要に応じて番号を入力します。トーン音が聞こえたら、通話を開始します。
標準の(アドホック)会議コールを開催する	[次へ] > [会議] を押し、参加者にダイヤルしてから、再び [会議] を押します。



クイック リファレンス



Cisco Unified IP Phone 7961G/7961G-GE および 7941G/7941G-GE 電話ガイド for Cisco Unified Communications Manager 6.1 (SCCP / SIP)

ソフトキーの機能
電話スクリーンのアイコン
ボタン アイコン
電話機の一般的なタスク

ソフトキーの機能

短縮	短縮ダイヤルのインデックス番号を使用してダイヤルする
応答	コールに応答する
戻る	前のヘルプの項目に戻る
割込み	共有回線のコールに参加する
折返し	話し中または呼び出し中の内線が対応可能になったときに通知を受信する
キャンセル	変更内容を適用せずに、操作をキャンセルまたは画面を終了する
C 割込	共有回線のコールに参加し、会議を開催する
不在	コール転送を設定またはキャンセルする
クリア	レコードまたは設定を削除する
閉じる	現在の画面を閉じる
参加者	会議の参加者を表示する
会議	会議コールを作成する
削除	編集機能を使用しているときに、カーソルの右側にある文字を削除する
詳細 (SCCP のみ)	不在履歴および着信履歴内の複数のコールに関する詳細レコードを開く
ダイヤル	番号をダイヤルする
D 転送 (SCCP のみ)	2 つのコールを相互に転送する
サイレント	サイレントをオンまたはオフにする
編集	履歴の電話番号を編集する
終了	現在のコールまたは現在のインターコムコールを切断する
削除	設定をデフォルトに戻す
終了	前の画面に戻る
G ピック	他のグループで呼び出し中のコールに応答する
即転送	ボイス メッセージ システムにコールをすぐに転送またはリダイレクトする
参加 (SCCP のみ)	既存の複数のコールを結合して、会議を開催する
リンク	関連のあるヘルプの項目を表示する
メイン	[ヘルプ] メイン メニューを表示する



Cisco, Cisco Systems, the Cisco logo, and the Cisco Systems logo are registered trademarks or trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries. All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0705R)

Copyright © 2007 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

OL-14683-01-J

ミーティング	Meet-Me 会議コールを開催する
次へ	その他のソフトキーを表示する
発信	新しいコールを発信する
他 Grp	関連付けられているグループで呼び出し中のコールに応答する
パーク	コール パークを使用してコールを保存する
ピックアップ	グループ内のコールに応答する
品質	問題のあるコールに関する情報をシステム管理者に送信する
リダイヤル	最後にダイヤルした電話番号にリダイヤルする
削除	会議の参加者を削除する
復帰	保留されたコールを復帰する
ドロップ	会議コールに最後に追加された参加者を削除する
保存	選択した設定を保存する
検索	ディレクトリのリストを検索する
選択	メニュー項目またはコールを選択する
転送	コールを転送する
更新	内容を更新する
ビデオ (SCCP のみ)	ビデオ表示モードを選択する
<<	入力した文字を削除する
>>	入力した文字の上を移動する

電話スクリーンのアイコン

回線およびコールの状態

	コール転送が有効
	コールの保留
	接続コール
	コールの着信

	オフフック
	オンフック
	使用中の共有回線
	メッセージ受信
	認証されたコール
	暗号化されたコール
	短縮ダイヤル、履歴、またはディレクトリのリスト内のビジー回線 (BLF 機能)
	短縮ダイヤル、履歴、またはディレクトリのリスト内のアイドル回線 (BLF 機能)
	短縮ダイヤル、履歴、またはディレクトリのリスト (回線ステータス不明)
	サイレント状態の回線 (BLF 機能)
	アイドル状態のインターコム回線
	一方向のインターコム コール
	双方向のインターコム コール

オーディオまたはビデオのモード

	ハンドセットを使用中
	ヘッドセットを使用中
	スピーカフォンを使用中
	ビデオが有効 (SCCP のみ)

機能へのアクセス

	機能が割り当て済みのボタン
	モビリティが割り当て済みのボタン
	保留が割り当て済みのボタン
	会議が割り当て済みのボタン
	転送が割り当て済みのボタン
	電話機サービス URL が割り当て済みのボタン
	履歴の URL エントリが編集可能 (SIP のみ)
	選択されたオプション
	機能が有効

ボタン アイコン

	メッセージ
	サービス
	ヘルプ
	ディレクトリ
	設定
	音量
	スピーカ
	ミュート
	ヘッドセット

Contents

はじめに	1
このガイドの使用方法	1
詳細情報	2
安全および使用における情報	2
シスコ製品のセキュリティの概要	3
アクセシビリティ機能	3
電話機の接続	4
電話機の概要	8
ボタンとハードウェアについて	8
回線とコールについて	12
回線とコールのアイコンについて	12
電話スクリーンの機能について	14
電話スクリーンのクリーニング	15
機能ボタンおよびメニューについて	15
電話機に関するヘルプ システムへのアクセス	16
機能の Availability について	16
SIP と SCCP の違いについて	17
基本的なコール処理	18
コールの発信：基本的なオプション	18
コールの発信：その他のオプション	20
コールへの応答	22
コールの終了	23

コールの保留と復帰	24
ミュートの使用	25
複数のコール間の切り替え	25
進行中のコールを他の電話機に切り替え	26
複数のコールの表示	27
コールの転送	28
ボイス メッセージ システムへのコールの送信	29
別の電話番号へのコール転送	30
サイレントの使用	31
会議コールの使用方法	32
会議の各機能の使用方法	32
会議機能の使用方法	32
参加機能の使用方法	33
C 割り込みの使用方法	34
Meet-Me の使用方法	34
会議参加者の表示または削除	35
インターコム コール発信と受信	36
応用的なコール処理	38
短縮ダイヤル	38
自分の電話機で他の電話機の着信に応答	39
パークされているコールの保存と取得	41
ハント グループからのログアウト	42
共有回線の使用	43
共有回線について	43
割り込みの使用による共有回線のコールへの参加	44
割り込み機能について	44
割り込み機能の使用方法	45
他者による共有回線のコールの表示および割り込みの防止	46

BLF の使用による回線の状態の判断	47
安全なコールの送受信	48
不審なコールのトレース	49
重要なコールの優先順位付け	49
Cisco エクステンション モビリティの使用方法	51
1 つの電話番号を使用したビジネス コールの管理	52
ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法	54
ヘッドセットの購入	55
自動応答の使用	56
履歴およびディレクトリの使用方法	57
履歴の使用方法	57
ディレクトリ ダイヤリング	60
電話機での社内ディレクトリの使用方法	60
電話機でのパーソナル ディレクトリの使用方法	62
電話機の設定の変更方法	65
呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ	65
電話スクリーンのカスタマイズ	66
ボイス メッセージへのアクセス	67
ユーザ オプション Web ページの使用	69
ユーザ オプション Web ページへのアクセス	69
Web での機能およびサービスの設定	71
Web でのパーソナル ディレクトリの使用方法	71
Web での個人アドレス帳の使用方法	71
Web でのファースト ダイアルの設定	72
アドレス帳同期ツールの使用方法	73
Web での短縮ダイアルの設定	73

Web での電話機サービスの設定	74
Web でのユーザ設定の制御	75
Web での回線設定の制御	76
モバイル コネクト用の電話機とアクセス リストの設定	78
Cisco WebDialer の使用方法	81
その他の設定オプションについて	83
電話機のトラブルシューティング	86
一般的なトラブルシューティング	86
電話機の管理データの表示	87
Quality Reporting Tool の使用方法	87
シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定	88
索引	

はじめに

このガイドの使用方法

このガイドでは、電話機で使用可能な機能の概要について説明しています。電話機の機能について確実に理解するには、このガイドをよく読んでください。次の表に、よく使用される項目を示します。

目的	必要な操作
電話機について調べる	ヘルプが必要な場合は、  を押してください。
安全情報を参照する	P.2 の「安全および使用における情報」 を参照してください。
電話機を接続する	P.4 の「電話機の接続」 を参照してください。
設置後に電話機を使用する	P.8 の「電話機の概要」 を参照してください。
ボタン ライトの意味を調べる	P.8 の「ボタンとハードウェアについて」 を参照してください。
ディスプレイについて調べる	P.12 の「回線とコールについて」 を参照してください。
コールを発信する	P.18 の「コールの発信：基本的なオプション」 を参照してください。
コールを保留にする	P.24 の「コールの保留と復帰」 を参照してください。
ミュートにする	P.25 の「ミュートの使用」 を参照してください。
コールを転送する	P.28 の「コールの転送」 を参照してください。
会議コールを発信する	P.32 の「会議コールの使用法」 を参照してください。
短縮ダイヤルを設定する	P.38 の「短縮ダイヤル」 を参照してください。
電話番号を共有する	P.43 の「共有回線の使用」 を参照してください。
電話機をスピーカフォンとして使用する	P.54 の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用法」 を参照してください。
呼び出しの音量やトーンを変更する	P.65 の「電話機の設定の変更方法」 を参照してください。
不在履歴を表示する	P.57 の「履歴およびディレクトリの使用法」 を参照してください。
ボイス メッセージを聞く	P.67 の「ボイス メッセージへのアクセス」 を参照してください。
ソフトキーとアイコンの定義を確認する	このガイドの冒頭のクイック リファレンス カードを参照してください。

詳細情報

WWW 上の次の URL から、Cisco Unified IP Phone の最新資料を入手することができます。

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/tsd_products_support_series_home.html

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/>

また、シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスできます。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

シスコ製品の最新資料の日本語版は、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp>

安全および使用における情報

停電の影響および Cisco Unified IP Phone のその他のデバイスについては、この項を参照してください。

停電

電話機で緊急サービスにアクセスできるかどうかは、電源が供給されている電話機に依存します。電源障害がある場合、電源が復旧するまで、利用および緊急コール サービスへのダイヤルは機能しません。電源の異常および障害が発生した場合は、装置のリセットまたは再設定をしてから、利用または緊急コール サービスへのダイヤルを行う必要があります。

外部デバイスの使用方法

次の情報は、Cisco Unified IP Phone で外部デバイスを使用する場合に適用されます。

シスコでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) がシールドされた高品質の外部デバイス (ヘッドセットなど) の使用を推奨しています。

これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。その場合は、次のいずれかの方法で対処してください。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、シールドおよびコネクタが高品質のケーブルを使用する。

- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイスのケーブルに、フェライトまたは同様のデバイスを適用する。

シスコでは、外部デバイス、ケーブル、コネクタの品質については制御できないため、システムパフォーマンスを保証することはできません。良品質のケーブルおよびコネクタを使用して適切なデバイスを接続すると、十分なシステムパフォーマンスを得られます。

**注意**

欧州連合諸国では、EMC Directive [89/336/EC] に完全に準拠した外部スピーカ、マイクロフォン、ヘッドセットだけを使用してください。

シスコ製品のセキュリティの概要

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国での法律を順守するものとします。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意する必要があります。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

シスコの暗号化製品に適用される米国の法律の概要については、次の URL で参照できます。

<http://www.cisco.com/wwl/export/crypto/tool/stqrg.html>

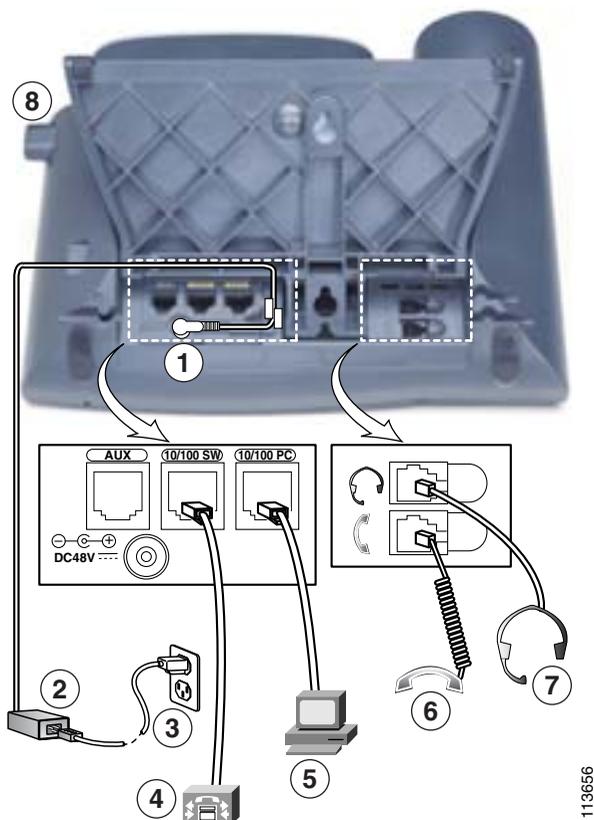
何かご不明な点があれば、export@cisco.com まで電子メールを送信してください。

アクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能のリストをご希望の場合は、お問い合わせください。

電話機の接続

通常は、システム管理者が新しい Cisco Unified IP Phone を企業 IP テレフォニー ネットワークに接続します。それ以外の場合は、次の図および表を参照して、電話機を接続してください。



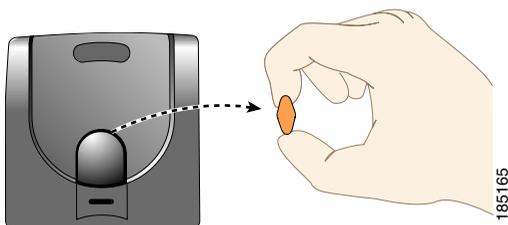
113656

1	DC アダプタ ポート (DC48V)	5	アクセス ポート (10/100 ¹ PC)
2	AC-DC 電源装置	6	ハンドセット ポート
3	AC 電源コード	7	ヘッドセット ポート
4	ネットワーク ポート (10/100 ¹ SW)	8	フットスタンド ボタン

1. 電話機によっては、10/100/1000 と表示されている場合があります。

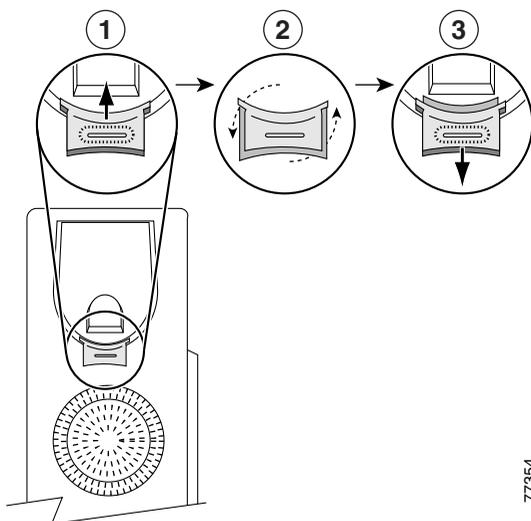
フックスイッチ クリップの取り外し（必須）

電話機を使用する前に、受け台からフックスイッチ クリップを取り外します。クリップが取り外されていないと、ハンドセットを取り上げたときにフックスイッチがわずかに上がります。



ハンドセット受け台の調節（オプション）

電話機を壁に取り付ける場合は特に、ハンドセットの受け台を調整することをお勧めします。調整により、ハンドセットが受け台から滑り落ちにくくなります。次の表に手順を示します。



1	ハンドセットを外し、ハンドセットの受け台から四角いプラスチックのタブを引き出します。
2	タブを 180 度回します。
3	タブをハンドセットの受け台に再び差し込みます。回したタブの上部から突起が出ている状態になります。ハンドセットを受け台に戻します。

フットスタンドの調節（オプション）

電話機本体の角度を変更するには、フットスタンド ボタンを押しながらフットスタンドを調節します。

TAPS を使用した登録

電話機をネットワークに接続した後、システム管理者が Tool for Auto-Registered Phones Support (TAPS) を使用して電話機の自動登録を指示する場合があります。TAPS は、新しい電話機にも、既存の電話機を置き換える場合にも使用できます。

TAPS に登録するには、ハンドセットを取り上げて、システム管理者から提供された TAPS 内線番号を入力し、ボイス プロンプトに従います。地域コードを含む、完全な内線番号を入力するように指示される場合があります。電話機に確認メッセージが表示されたら、ハンドセットを置きます。電話機が再起動します。

ヘッドセットについて

ヘッドセットを使用するには、ヘッドセットを電話機の背面にあるヘッドセット ポートに差し込みます。

シスコシステムズでは、Cisco Unified IP Phone で使用するサードパーティ製のヘッドセットについて社内でテストを実施していますが、ヘッドセットまたはハンドセットのベンダーによる製品の動作の保証やサポートは行っていません。Cisco Unified IP Phone の展開場所では、環境やハードウェアによるそれぞれ固有の不整合が発生する場合がありますので、すべての環境に共通して適用できる「最良の」解決策を 1 つだけ見出すことは不可能です。ネットワークにヘッドセットを多数展開する前に、お客様の環境での使用に最適かどうか、それらのヘッドセットについてテストすることをお勧めします。

ヘッドセットの種類によっては、その機械上または電子上の特性が原因で、Cisco Unified IP Phone ユーザとリモートで会話中の通話相手に、通話相手自身の声の反響が聞こえる場合があります。

シスコシステムズでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) が遮蔽された高品質のヘッドセットなどの外部デバイスの使用を推奨しています。これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。

一部のヘッドセットが Cisco Unified IP Phone での使用に適さないとされる主な理由は、ハム雑音が入る可能性があるということです。このハム雑音は、リモートの通話相手だけに聞こえる場合も、リモートの通話相手と Cisco Unified IP Phone ユーザの両方に聞こえる場合もあります。ハム雑音やブザーのような雑音は、電灯、近辺にある電気モーター、大型の PC モニタなど、外部ソースに原因があることがあります。場合によっては、ユーザに聞こえるハム雑音は、ローカル電源キューブやパワー インジェクタを使用することにより、軽減または除去が可能です。

オーディオの品質に対するユーザの主観

物理的、機械的、および技術的なパフォーマンスより先に、まずヘッドセットによって提供される音が、ユーザとリモートの通話相手にとって良質のものである必要があります。音の品質の判断は主観的なものであるため、シスコでは、特定のヘッドセットやハンドセットのパフォーマンスを保証することはできません。ただし、次に示すサイトに記載されているヘッドセットやハンドセットは、Cisco Unified IP Phone で使用した場合のパフォーマンスが優れていることが報告されています。

しかし、使用する環境でこれらの装置をテストし、適切なパフォーマンスが得られるかどうかを判断するのは、最終的にお客様ご自身の責任になります。

ヘッドセットについては、次の URL を参照してください。

<http://www.vxicorp.com/cisco>

<http://www.plantronics.com>

<http://www.jabra.com>

電話機の概要

Cisco Unified IP Phone 7961G と 7961G-GE (ギガビット イーサネット バージョン) および 7941G と 7941G-GE (ギガビット イーサネット バージョン) は、コンピュータで使用するデータ ネットワークで音声通信を行うためのすべての機能が搭載された電話機です。この電話機を使用してコールの発信および受信、保留、転送、会議コールの開設などの機能を使用できます。

ギガビット イーサネット バージョンの Cisco Unified IP Phone 7961G-GE および 7941G-GE は、ギガビット イーサネット VoIP テレフォニーの最新テクノロジーを提供し、ユーザの机上でギガビット スループットを実現します。

この電話機を使用すると、基本的なコール処理機能に加えて、コール処理機能を拡張し生産性を高めることができます。設定に応じて、この電話機では次のものをサポートします。

- ネットワーク データ、XML アプリケーションおよび Web ベースのサービスへのアクセス
- コール機能のオンライン カスタマイズおよびユーザ オプション Web ページからのサービス
- 電話スクリーンに情報を表示する包括的なオンライン ヘルプ システム

ボタンとハードウェアについて

電話機のボタンとハードウェアの理解のために、次の図と表を使用することができます。

Cisco Unified IP Phone 7961G/7961G-GE



137503

Cisco Unified IP Phone 7941G/7941G-GE



137504

項目	説明	参照先または問い合わせ先
1 プログラマブル ボタン 	<p>設定に応じて、プログラマブル ボタンからは次にアクセスできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話回線(回線ボタン)およびインターコム回線 短縮ダイヤル番号(短縮ダイヤル ボタン、BLF 短縮ダイヤル機能を含む) Web ベースのサービス(個人アドレス帳ボタンなど) コール機能(プライバシー、保留、転送のボタンなど) <p>表示されるボタンの色によって、回線の状態が次のように示されます。</p> <ul style="list-style-type: none">  緑、点灯：アクティブ コールまたは双方向のインターコム コールです。  緑、点滅：コールは保留状態です。  オレンジ、点灯：プライバシー機能が使用中、一方向のインターコム コール、サイレントがアクティブ、またはハント グループにログイン中です。  オレンジ、点滅：コールが着信中またはコールが復帰中です。  赤、点灯：リモート回線が使用中です(共有回線、BLF ステータス、またはアクティブなモバイル コネクト コール)。 	<ul style="list-style-type: none"> 回線とコールについて (P.12) 基本的なコール処理 (P.18) 短縮ダイヤル (P.38) 共有回線の使用 (P.43) BLF の使用による回線の状態の判断 (P.47) インターコム コールの発信と受信 (P.36)
2 電話スクリーン	コール機能を表示します。	回線とコールについて (P.12)
3 フットスタンド ボタン	電話機本体の角度を調節します。	フットスタンドの調節 (オプション)(P.6)
4 メッセージ ボタン 	サービスによって異なりますが、ボイス メッセージ サービスに自動ダイヤルします。	ボイス メッセージへのアクセス (P.67)

	項目	説明	参照先または問い合わせ先
5	ディレクトリ ボタン 	[ディレクトリ]メニューを開閉します。履歴およびディレクトリにアクセスするために使用します。	履歴の使用方法 (P.57)
6	ヘルプ ボタン 	[ヘルプ]メニューをアクティブにします。	電話機に関するヘルプ システムへのアクセス (P.16)
7	設定ボタン 	[設定]メニューを開閉します。電話スクリーンのコントラストおよび呼出音を制御するために使用します。	電話機の設定の変更方法 (P.65)
8	サービス ボタン 	[サービス]メニューを開閉します。	ユーザオプション Web ページの使用 (P.69)
9	音量ボタン 	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンの音量(オフフック) および呼出音の音量(オンフック)を制御します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.54)
10	スピーカ ボタン 	スピーカフォンモードのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.54)
11	ミュート ボタン 	マイクロフォンモードのオン/オフを切り替えます。マイクロフォンがミュートになっているとき、ボタンは点灯しています。	ミュートの使用 (P.25)
12	ヘッドセット ボタン 	ヘッドセットモードのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.54)
13	ナビゲーション ボタン 	メニューのスクロールや項目の強調表示に使用します。電話機がオンフックのとき、発信履歴ログに含まれる電話番号を表示します。	履歴の使用方法 (P.57)
14	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、およびメニュー項目の選択に使用します。	基本的なコール処理 (P.18)
15	ソフトキー ボタン 	各ボタンは、電話スクリーンに表示されているソフトキーのオプションをそれぞれアクティブにします。	回線とコールについて (P.12)
16	ハンドセットのライトストリップ	着信コールまたは新しいボイス メッセージがあることを示します。	ボイス メッセージへのアクセス (P.67)

回線とコールについて

回線とコールについて混同しないために、次の説明を参照してください。

回線：回線は、他人が自分へのコールに使用できる電話番号またはインターコム番号にそれぞれ対応しています。設定に応じて、Cisco Unified IP Phone 7961G/7961G-GE は 1 ~ 6 本、Cisco Unified IP Phone 7941G/7941G-GE は 1 ~ 2 本の回線をサポートします。電話機に割り当てられた回線の数は、電話スクリーンの右側で確認します。電話機の回線の数は、電話番号と電話回線アイコン  の数と同じです。

コール：各回線では、複数のコールをサポートできます。デフォルトでは、電話機は 1 本の回線につき 4 つの接続コールをサポートしますが、システム管理者はこの数を必要に応じて調整できます。アクティブとなり得るコールは常に 1 つに限定されるので、他のコールはすべて自動的に保留状態になります。

回線とコールのアイコンについて

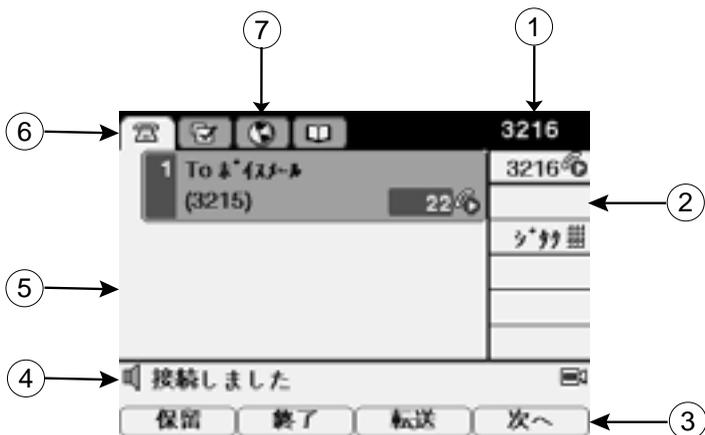
電話機には、コールと回線の状態の判断に役立つアイコンが表示されます。

アイコン	回線またはコールの状態	説明
	オンフック回線	この回線のコール アクティビティはありません。
	オフフック回線	電話番号のダイヤル中または発信コールの呼出音が鳴っている状態です。
	接続コール	通話相手に現在接続されている状態です。
	呼び出し中のコール	いずれかの回線で着信コールの呼出音が鳴っています。
	コールの保留	コールが保留されています。P.24 の「 コールの保留と復帰 」を参照してください。
	リモートで使用中心	共有回線の別の電話機に接続コールがあります。詳細については、P.43 の「 共有回線の使用 」を参照してください。
	コールの復帰	保留コールが電話機に復帰しています。P.24 の「 コールの保留と復帰 」を参照してください。
	認証されたコール	P.48 の「 安全なコールの送受信 」を参照してください。
	暗号化されたコール	P.48 の「 安全なコールの送受信 」を参照してください。
	アイドル回線 (BLF)	P.47 の「 BLF の使用による回線の状態の判断 」を参照してください。

アイコン	回線またはコールの状態	説明
	ビジー回線 (BLF)	P.47 の「BLF の使用による回線の状態の判断」を参照してください。
	サイレント状態の回線 (BLF)	P.47 の「BLF の使用による回線の状態の判断」を参照してください。
	アイドル状態のインターコム回線	インターコム回線は使用されていません。P.36 の「インターコム コールの発信と受信」を参照してください。
	一方向のインターコム コール	インターコム回線が一方向のオーディオを送信中または受信中です。P.36 の「インターコム コールの発信と受信」を参照してください。
	双方向のインターコム コール	受信者がインターコム回線を押して発信者との双方向オーディオをアクティブにしました。P.36 の「インターコム コールの発信と受信」を参照してください。

電話スクリーンの機能について

次の図は、アクティブなコールと複数の機能メニューが開いているメインの電話スクリーンの概観を示しています。



1	プライマリ電話回線	プライマリ電話回線の電話番号(ディレクトリ番号)を表示します。複数の機能タブが開いている場合は、電話番号、時刻、日付もここに表示されます。
2	プログラマブルボタンのインジケータ	プログラマブル ボタンには、電話回線ボタン、インターコム回線ボタン、短縮ダイヤル ボタン、電話機サービスボタン、また電話機能ボタンとしての働きもあります。アイコンとラベルは、これらのボタンの設定状況を示します。アイコン リファレンスについては、このガイドの冒頭にあるクイック リファレンスカードの「電話スクリーンのアイコン」を参照してください。
3	ソフトキーのラベル	ソフトキーの機能をそれぞれ表示します。ソフトキーをアクティブにするには、ソフトキー ボタンを押します。
4	ステータス行	オーディオ モードのアイコン、ステータス情報、およびプロンプトを表示します。
5	コール アクティビティ領域	発信者 ID、通話時間、および標準の表示で強調表示されている回線のコールの状態など、回線ごとの現在のコールを表示します。P.12の「回線とコールについて」およびP.27の「複数のコールの表示」を参照してください。
6	電話タブ	コール アクティビティを示します。このタブを押して、コール アクティビティ領域に戻ります。
7	機能タブ	各タブは、開いている機能メニューを示します。P.15の「機能ボタンおよびメニューについて」を参照してください。

電話スクリーンのクリーニング

電話スクリーンを拭く場合は、乾いた柔らかい布だけを使用してください。液体や粉は電話機に対して使用しないでください。電話機の部品に入り込み、故障の原因になる可能性があります。

機能ボタンおよびメニューについて

機能ボタンを押して、機能メニューの開閉を行います。

目的	必要な操作または状態の説明
機能メニューを開閉する	<p>次の機能ボタンを押します。</p> <ul style="list-style-type: none">  メッセージ  サービス  ディレクトリ  設定  ヘルプ
リストまたはメニューをスクロールする	ナビゲーション ボタンを押します。
機能メニューの1つ前のレベルに戻る	[終了]を押します。メニューの最上位レベルで[終了]を押すと、メニューが閉じます。
開いている機能メニューを切り替える	機能タブを押します。各機能メニューごとに、対応するタブがあります。機能メニューを開くと、対応するタブが表示されます。

電話機に関するヘルプ システムへのアクセス

電話機には、包括的なオンライン ヘルプ システムが備わっています。ヘルプの項目は電話スクリーンに表示されます。

目的	必要な操作または状態の説明
メイン メニューを表示する	電話機の  を押し、メニューが表示されるまで数秒待ちます。 メイン メニューには、次の項目が含まれます。 <ul style="list-style-type: none">• Cisco Unified IP Phone について：電話機に関する詳細な説明• 操作方法：電話機の一般的なタスクに関する手順• コール機能：コール機能に関する説明や手順• ヘルプ：ヘルプの使用やアクセスに関するヒント
ボタンやソフトキーを確認する	 を押してから、すぐにボタンまたはソフトキーを押します。
メニュー項目を確認する	 、  、または  を押して、機能メニューを表示します。メニュー項目を強調表示し、  をすばやく 2 回押します。
ヘルプを使用してヘルプを表示する	 をすばやく 2 回押します。必要なヘルプ項目を選択します。

機能のアベイラビリティについて

電話機のシステム設定によって、この電話ガイドに記載されている機能がご使用の電話機で利用できない、または動作が異なる場合があります。操作方法や機能のアベイラビリティについては、お客様の社内のサポート デスクまたはシステム管理者にお問い合わせください。

機能にアクセスするには、ソフトキーを使うか回線ボタンを押します。機能の一部はユーザが設定できませんが、大部分はシステム管理者が制御します。

次に、機能にアクセスするためのソフトキーと回線ボタンの使用方法について詳しく説明します。

機能	ソフトキー	回線ボタンのラベルとアイコン
コールバック	折返し	折返し 
コール転送	不在	不在転送 
コール パーク	パーク	パーク 
コール ピックアップ	ピック	ピック 

機能	ソフトキー	回線ボタンのラベルとアイコン
会議	会議	会議 
会議リスト	参加者	会議リスト 
サイレント	サイレント	サイレント  または サイレント 
コールの終了	終了	コールの終了 
グループ ピックアップ	G ピック	グループピックアップ 
保留	保留	保留 
ハント グループ	ハント	ハントグループ  または ハントグループ 
迷惑呼 ID	迷惑呼	迷惑呼 ID 
Meet-Me 会議	ミー トミー	ミー トミー 
モビリティ	モビリティ	モビリティ 
発信	発信	発信 
他のグループのピックアップ	他 Grp	その他のグループ ピックアップ 
品質レポート ツール	品質	品質レポートツール 
リダイヤル	リダイヤル	リダイヤル 
最後の会議参加者の削除	ドロップ	最後の参加者の削除 
転送	転送	転送 
ビデオ モード コマンド	ビデオ	ビデオ 

SIP と SCCP の違いについて

電話機は、Session Initiation Protocol (SIP) と Skinny Call Control Protocol (SCCP) のどちらかのシグナリング プロトコルに対応するように設定できます。この設定は、システム管理者が行います。

コール機能は、プロトコルによって異なります。この電話ガイドでは、どの機能がどのプロトコルに固有のものを示します。電話機で使用されているプロトコルを知るには、システム管理者に問い合わせるか、電話機の  > [モデル情報] > [コール制御プロトコル] を選択します。

基本的なコール処理

機能やサービスを使用する基本的なコール処理を実行することができます。機能のアベイラビリティが異なる場合、詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

コールの発信：基本的なオプション

次に、Cisco Unified IP Phone でコールを発信する簡単な方法を紹介します。

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
ハンドセットを使用してコールを発信する	ハンドセットを取り上げて、番号を入力します。	電話機の概要 (P.8)
スピーカフォンを使用してコールを発信する	 を押して、番号を入力します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフンの使用方法 (P.54)
ヘッドセットを使用してコールを発信する	 を押して、番号を入力します。または、  が点灯している場合、[発信] を押し、番号を入力します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフンの使用方法 (P.54)
番号をリダイヤルする	[リダイヤル] を押し、最後の番号をダイヤルするか、または、電話機がアイドルの状態ではナビゲーション ボタンを押し、発信履歴を参照します。	履歴の使用方法 (P.57)
別のコールがアクティブなときにコールを発信する (同じ回線を使用)	1. [保留] を押します。 2. [発信] を押します。 3. 番号を入力します。	コールの保留と復帰 (P.24)
履歴からダイヤルする	1.  > [不在履歴] [着信履歴] または [発信履歴] を選択します。 2. リストの番号を選択するかまたはスクロールして選択し、オフフックにします。	履歴の使用方法 (P.57)

ヒント

- ダイヤルトーンを聞かずにオンフックでダイヤルできます（プレダイヤル）。プレダイヤルするには、番号を入力してから、ハンドセットを取り上げるか、**[ダイヤル]**、、または  を押して、オフフックにします。
- プレダイヤルする場合、この電話機には、発信履歴ログが利用可能な場合、そこから一致する電話番号を表示し、ダイヤルしている番号を前もって示す機能があります。これは自動ダイヤルと呼ばれます。自動ダイヤルを使用し、表示された番号をコールするには、番号を押すか、または番号をスクロールしてオフフックにします。
- 間違ってダイヤルした場合は、<<を押して、番号を消去します。
- コールの発信者と受信者にビーブ音が聞こえる場合、そのコールは監視または記録されている可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

コールの発信：その他のオプション

この電話機で利用可能な特別な機能やサービスを使ってコールを発信することができます。これらのその他のオプションについての詳細は、システム管理者にお問い合わせください。

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
別のコールがアクティブなときにコールを発信する (異なる回線を使用)	<ol style="list-style-type: none"> 新しい回線で  を押します。最初のコールは自動的に保留状態になります。 番号を入力します。 	コールの保留と復帰 (P.24)
短縮ダイヤルを使用する	<p>次のいずれかの操作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none">  (短縮ダイヤル ボタン) を押します。 固定短縮ダイヤル機能を使用します。 ファースト ダイヤル機能を使用します。 	短縮ダイヤル (P.38)
電話機の社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none">  > [社内ディレクトリ] を選択します(名前は異なる場合があります)。 名前を入力して [検索] を押します。 リストを強調表示し、オフフックにします。 	履歴の使用方法 (P.57)
Cisco WebDialer を使用し、パーソナルコンピュータ上の社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> Web ブラウザを起動して、WebDialer が有効な社内ディレクトリのページへ移動します。 ダイヤルする番号をクリックします。 	Cisco WebDialer の使用方法 (P.81)
話し中または呼び出し中の内線が対応可能になったときに、Cisco CallBack を使用して通知を受信する	<ol style="list-style-type: none"> ビジー音または呼出音が聞こえているときに、[折返し] を押します。 切断します。回線がフリーの状態のときは、電話機により通知されます。 再びコールを発信します。 	システム管理者
短縮ダイヤル、履歴、またはディレクトリのリストに関連付けられた回線が使用中であるかどうかを、その回線へのコールを発信する前に確認する	ビジー ランプ フィールドのインジケータを確認します。	BLF の使用による回線の状態の判断 (P.47)

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
プライオリティ (Precedence) コールを発信 する (SCCP 電話機のみ)	MLPP アクセス番号を入力し、電話番号を入力します。	重要なコールの優先順位付け (P.49)
Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳) のエントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [パーソナルディレクトリ] を選択してログインします。 2. [個人アドレス帳] を選択し、リストを検索します。 	電話機でのパーソナルディレクトリの使用方法 (P.62)
課金コードまたはトラッキングコードを使用してコールを発信する (SCCP 電話機のみ)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 番号をダイヤルします。 2. トーンの後、CMC (クライアントマターコード) または FAC (Forced Authorization Code) を入力します。 	システム管理者
Cisco エクステンション モビリティ プロファイルを使用してコールを発信する	電話機の Cisco エクステンション モビリティ サービスにログインします。	Cisco エクステンション モビリティの使用方法 (P.51)
モバイル ボイス アクセスを使用して携帯電話からコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. システム管理者からモバイル ボイス アクセスの番号とエンド ユーザの PIN を入手します。 2. 割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号にダイヤルします。 3. 携帯電話の番号 (要求された場合) と PIN を入力します。 4. 会社の IP Phone に発信するために 1 を押します。 5. デスクトップの電話番号にダイヤルします (自分のデスクトップの番号以外)。 	P.52 の「1 つの電話番号を使用したビジネス コールの管理」を参照してください。

コールへの応答

ハンドセットを取り上げて、コールに応答することができます。または、電話機のその他のオプションが利用可能な場合、それらを使用することができます。

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
ヘッドセットで応答する	 が点灯していない場合は、押します。  がすでに点灯している場合は、[応答] または  (点滅) を押します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.54)
スピーカフォンで応答する	 、[応答] または  (点滅) を押します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.54)
接続コールから切り替えて新しいコールに応答する	[応答] を押すか、別の回線でコールの呼出音が鳴っている場合は、  (点滅) を押します。	コールの保留と復帰 (P.24)
コール ウェイティングを使用して応答する	[応答] を押します。	コールの保留と復帰 (P.24)
ボイス メッセージ システムにコールを送信する	[即転送] を押します。	ボイス メッセージ システムへのコールの送信 (P.29)
自動接続コール	自動応答を使用します。	自動応答の使用 (P.56)
別の電話機でパークされたコールを取得する	コール パークまたはダイレクト コール パークを使用します。	パークされているコールの保存と取得 (P.41)
電話機を使用して、他の場所呼び出し中のコールに応答する	コール ピックアップを使用します。	自分の電話機で他の電話機の着信に応答 (P.39)
プライオリティ コールに応答する (SCCP 電話機のみ)	現在のコールを切断して [応答] を押します。	重要なコールの優先順位付け (P.49)

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
携帯電話または他のリモート接続先でコールに 応答する	<p>モバイル コネクトを設定して電話に応答します。</p> <p>モバイル コネクトを有効にした場合の動作は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • デスクトップとリモート接続先でコールを同時に受信します。 • デスクトップの電話機でコールに応答すると、リモート接続先の電話機の呼出音が止まってコールが切断され、不在履歴メッセージが表示されます。 • 1 つのリモート接続先でコールに応答すると、それ以外のリモート接続先では呼出音が止まってコールが切断され、不在履歴メッセージが表示されます。 	P.52 の「 1 つの電話番号を使用したビジネス コールの管理 」を参照してください。

ヒント

コールの発信者と受信者にピープ音が聞こえる場合、そのコールは監視または記録されている可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

コールの終了

コールを終了するには、切断します。詳細を次に示します。

目的	必要な操作または状態の説明
ハンドセットを使用しているときに切断する	ハンドセットを受け台に戻します。または [終了] を押しします。
ヘッドセットを使用しているときに切断する	 を押しします。または、ヘッドセット モードをアクティブに保持するには、[終了] を押しします。
スピーカフォンを使用しているときに切断する	 または [終了] を押しします。
複数のコールがある場合に 1 つのコールだけを切断する	[終了] を押しします。必要に応じて、コールの保留を解除しておきます。

コールの保留と復帰

コールを保留および復帰することができます。コールを保留にすると、保留アイコンが発信者 ID の横に表示され、対応する回線ボタンが緑に点滅します。

電話機で保留復帰機能を有効にすると、保留にしたコールは、一定の時間が経過した後に復帰し、呼出音が再び鳴るようになります。「復帰」コールは、ユーザが保留解除するまで、または保留復帰がタイムアウトするまで保留状態のままです。

復帰コールの存在は、電話機の次のアクションによって示されます。

- 一定の間隔で呼出音（点滅やピープ音など、電話回線の設定によって異なる）を 1 回鳴らして警告する
- 電話スクリーン下部のステータスバーに「保留復帰」という短いメッセージを表示する
- 保留コールの発信者 ID の横に保留復帰アイコンの動画を表示する
- 点滅するオレンジの回線ボタン（回線の状態によって異なる）を表示する

目的	必要な操作または状態の説明
コールを保留にする	<ol style="list-style-type: none">1. 保留状態にするコールが強調表示されていることを確認します。2. [保留] を押します。
現在の回線にあるコールの保留を解除する	<ol style="list-style-type: none">1. 該当するコールが強調表示されていることを確認します。2. [復帰] を押します。
別の回線にあるコールの保留を解除する	<ol style="list-style-type: none">1. 該当する回線ボタンまたは（点滅）を押します。この操作により、保留コールが自動的に復帰する場合があります。<ul style="list-style-type: none">- 回線に復帰コールが 1 つある場合、そのコールは保留解除されます。- 回線に復帰コールが複数ある場合、最も古い復帰コールが保留解除されます。- 復帰していない保留コールだけが回線にある場合、このコールが保留解除されます。2. 必要に応じて、該当するコールまでスクロールし、[復帰] を押します。

ヒント

- コールが保留状態になっているとき、通常は音楽やピープ音が流れます。
- 着信コールと復帰コールが同時に存在するというアラートが発生すると、デフォルトでは、電話機のスクリーンは着信コールの表示にフォーカスを移します。システム管理者は、このフォーカス優先度の設定を変更できます。

- 共有回線を使用している場合、保留復帰の呼出音は、コールを保留している電話機でのみ鳴ります。回線を共有する他の電話機では鳴りません。
- 保留復帰のアラートが発生する間隔は、システム管理者が決定します。

ミュートの使用

ミュートが有効な場合、コールの通信相手からの音声は聞こえますが、自分からの音声は通信相手に聞こえません。ハンドセット、スピーカフォン、またはヘッドセットでミュートを使用できます。

目的	必要な操作または状態の説明
マイクロフォンをオンにする	 を押します。
マイクロフォンをオフにする	 を押します。

複数のコール間の切り替え

1 本または複数の回線で複数のコールを切り替えることができます。切り替え先のコールが自動的に強調表示されない場合は、ナビゲーション ボタンを使用してそのコールまでスクロールします。

目的	必要な操作または状態の説明
同じ回線で接続されているコールを切り替える	<ol style="list-style-type: none"> 切り替えるコールが強調表示されていることを確認します。 [復帰]を押します。 アクティブ コールは保留状態になり、選択されたコールは復帰します。
異なる回線で接続されているコールを切り替える	<p>切り替え中の回線で を押します。</p> <p>この回線で保留になっているコールが1つの場合、コールは自動的に復帰します。複数のコールが保留の場合、該当するコールを強調表示し、[復帰]を押します。</p>
接続コールから切り替えて呼び出し中のコールに応答する	[応答] を押すか、別の回線でコールの呼出音が鳴っている場合は、  (点滅)を押します。アクティブ コールは保留状態になり、選択されたコールは復帰します。

進行中のコールを他の電話機に切り替え

進行中のコールは、デスクトップの電話機と、携帯電話または他のリモート接続先の電話機との間で切り替えることができます。

目的	必要な操作または状態の説明
進行中のコールをデスクトップの電話機から携帯電話に切り替える	<ol style="list-style-type: none"><li data-bbox="381 337 1210 391">1. [モビリティ] ソフトキーを押し、[携帯電話へコールを送信] を選択します。<li data-bbox="381 407 1210 613">2. 進行中のコールに携帯電話で応答します。 デスクトップの電話回線ボタンが赤  に変わり、ハンドセットアイコンと発信者の番号が電話機に表示されます。他のコールに同じ電話回線を使用することはできません。ただし、デスクトップの電話機が複数回線をサポートする場合は、別の回線を使用してコールの発信および受信が可能です。
進行中のコールを携帯電話からデスクトップの電話機に切り替える	<ol style="list-style-type: none"><li data-bbox="381 625 1210 683">1. 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないでおきます。<li data-bbox="381 699 1210 760">2. デスクトップの電話機で 4 秒以内に [復帰] を押し、デスクトップの電話機で通話を開始します。

複数のコールの表示

電話機に複数のコールを表示する方法を理解することで、コール処理の計画に役立ちます。

標準表示モードで、この電話機は、次のように強調表示されている回線でコールを表示します。

- 優先順位が最も高く、通話時間の最も長いコールがリストの先頭に表示されます。
- 同じタイプのコールは、グループ化されて表示されます。たとえば、相互に通話したコールは先頭付近に、そして保留状態のコールは末尾付近にグループ化されます。

次に示すその他の方法を利用し、複数の回線の複数のコールを表示できます。

目的	必要な操作または状態の説明
別の回線のコールを表示する	<ol style="list-style-type: none"> 1. を押します。 2. すぐに回線ボタン を押します。
コールの概要モードに切り替える	<p>強調表示されている回線で を押します。</p> <p>電話機がコールの概要モードに切り替わり、回線ごとに1つのコールが表示されます。表示されているコールは、アクティブなコール、または通話時間の最も長い保留中のコールのいずれかです。</p> <p>標準表示モードに戻るには、を押してから、すぐに回線ボタンを押します。</p>

コールの転送

接続コールは転送によってリダイレクトされます。転送先は、コールの転送先となる電話番号です。

目的	必要な操作または状態の説明
転送先の相手と会話せずにコールを転送する	<ol style="list-style-type: none">1. アクティブ コールから、[転送] を押します。2. 転送先の番号を入力します。3. [転送] を再び押して転送を完了するか、[終了] を押してキャンセルします。 <p> (注) 電話機でオンフック転送が有効になっている場合は、ハンドセットを置くことによって転送を完了します。</p>
転送先の相手と会話してからコールを転送する (打診転送)	<ol style="list-style-type: none">1. アクティブ コールから、[転送] を押します。2. 転送先の番号を入力します。3. 相手が応答するのを待ちます。4. [転送] を再び押して転送を完了するか、[終了] を押してキャンセルします。 <p> (注) 電話機でオンフック転送が有効になっている場合は、ハンドセットを置くことによって転送を完了します。</p>
通信を継続せずに、2 つの現在のコールを相互に転送する (直接転送、SCCP 電話機のみ)	<ol style="list-style-type: none">1. その回線における任意のコールをスクロールして強調表示します。2. [選択] を押します。3. 2 番目のコールに対しても同じ処理を行います。4. 選択したコールの 1 つが強調表示されている状態で [D 転送] を押します ([D 転送] を表示するために、必要に応じて [次へ] を押します)。2 つのコールが相互に接続され、自分のコールは終了されます。 <p> (注) 発信者との通信を継続する場合は、代わりに [参加] を使用します。</p>
ボイス メッセージ システムにコールをリダイレクトする	[即転送] を押します。詳細については、P.29 の「ボイス メッセージ システムへのコールの送信」を参照してください。

ヒント

- 電話機のオンフック転送が有効になっている場合は、切断してコールを完了するか、**[転送]**を押してから切断することができます。
- 電話機のオンフック転送が有効でない場合は、**[転送]**を再び押さずに、切断することで、コールを保留にします。
- **[転送]**を使用して保留中のコールをリダイレクトすることはできません。**[復帰]**を押して、転送前にコールの保留を解除してください。

ボイス メッセージ システムへのコールの送信

[即転送]を使用して、アクティブ、呼び出し中、または保留中のコールを自分のボイス メッセージ システムに送信できます。コールのタイプと電話機の設定によっては、**[即転送]**を使用して通話相手のボイス メッセージ システムにコールを送信することもできます。

- コールが最初から自分以外の誰かの電話機に送信されていた場合は、**[即転送]**でそのコールを自分のボイス メッセージ システムまたは本来のコール先のボイス メッセージ システムのどちらかにリダイレクトすることができます。このオプションは、システム管理者が使用可能にしておく必要があります。
- コールが直接送信された（転送されたのではない）場合、または使用している電話機が上記のオプションをサポートしていない場合、**[即転送]**を使用するとコールはその電話機ユーザのボイス メッセージ システムにリダイレクトされます。

目的	必要な操作または状態の説明
アクティブ、呼び出し中、または保留中のコールをボイス メッセージ システムに送信する	<p>[即転送]を押します。次のどちらかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コールが自分のボイス メッセージ システムに転送されます。 • 電話機のスクリーンに、自分のボイス メッセージ システムと本来のコール先のボイス メッセージ システムを選択できるメニューが表示されます。オプションを選択して、コールをリダイレクトします。

ヒント

電話機にメニューが表示され、選択前にメニューが非表示になっても、**[即転送]**をもう一度押すと、メニューが再表示されます。システム管理者に、タイムアウト値を現在より長く設定するように依頼することもできます。

別の電話番号へのコール転送

コール転送機能を使用すると、自分の電話機にかかってくる着信コールを別の電話番号にリダイレクトできます。

システム管理者によって設定されている場合は、次の2種類のコール転送機能から選択できます。

- 無条件のコール転送（不在転送）: 受信したすべてのコールに適用されます。
- 条件付きコール転送（無応答時転送、話中転送、カバレッジなし時転送）: 条件に応じて、受信した特定のコールに適用されます。

不在転送機能には電話機からアクセスできますが、他のコール転送機能には、ユーザ オプション Web ページからのみアクセスできます。どのコール転送機能を使用できるかは、システム管理者が決定します。

目的	必要な操作または状態の説明
プライマリ回線の不在転送を設定する	[不在] ソフトキーまたは [不在転送] ボタンを押し、転送先の電話番号を入力します。
プライマリ回線の不在転送をキャンセルする	[不在] ソフトキーまたは [不在転送] ボタンを押します。
プライマリ回線の不在転送が有効になっているかどうかを確認する	次のことを確認します。 <ul style="list-style-type: none">• プライマリの電話番号の上にコール転送アイコン  が表示されている。• ステータス行にコール転送の転送先番号が表示されている。
プライマリでない回線のコール転送をリモートで設定またはキャンセルする	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P.69 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。2. コール転送設定にアクセスします (P.76 の「Web での回線設定の制御」を参照)。 <p> (注) コール転送がプライマリ回線以外で有効になっている場合、電話機にはコール転送の状態が表示されません。その代わりとして、ユーザ オプション Web ページで設定を確認する必要があります。</p>

ヒント

- コール転送の転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。たとえば、必要に応じてアクセスコードや地域コードをダイヤルします。
- 従来のアナログ電話機、または他の IP Phone にコールを転送することができます。ただし、システム管理者がコール転送機能を社内の番号に制限している場合があります。

- コール転送は、電話回線固有です。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、転送されたコールを受信した人物から転送者への連絡を可能にする、コール転送オーバーライド機能を有効にできます。このオーバーライドが有効になると、転送先から転送者の電話に発信されたコールは転送されず、呼出音が鳴ります。

サイレントの使用

サイレント機能を使用して、着信コールの呼出音が電話機で鳴らないようにブロックできます。電話機のサイレント機能を有効にするのはシステム管理者です。

電話機で [サイレント] と [不在] の両方が有効になっている場合、コールは転送され、発信者にはビジー音が聞こえません。

インターコム回線の場合は、サイレントがアクティブでも呼出音が鳴ります。

目的	必要な操作または状態の説明
サイレントをオンにする	[サイレント] ソフトキーまたは [サイレント] ボタン  を押します。 電話機に「サイレント」と表示され、サイレントを示す  が点灯し、呼出音がオフになります。
サイレントをオフにする	[サイレント] ソフトキーまたは [サイレント] ボタン  を押します。
サイレントの設定値をカスタマイズする	サイレントの設定値がユーザ オプション ページに表示されるようにシステム管理者によって設定されている場合は、次の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします。P.69 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください。 2. ドロップダウン メニューから [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 3. 次のオプションを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> - [サイレント]: サイレントを有効または無効にします。 - [DND 着信呼警告]: アラートをピープ音のみまたは点滅のみに設定するか、すべての表示および音声によるアラート通知を無効にします。

会議コールの使用方式

Cisco Unified IP Phone では、会議コールで複数の参加者と同時に会話できます。

会議の各機能の使用方式

会議は、必要に応じて、また電話機で使用できる機能に応じて、次に示す方式で開催できます。

- 会議：参加者それぞれにコールを発信することによって、標準の（アドホック）会議を開催できます。[会議] ソフトキーまたは [会議] ボタンを使用します。会議機能は、ほとんどの電話機で使用できます。
- 参加：既存の複数のコールを結合することによって、標準の（アドホック）会議を開催できます。[参加] ソフトキーまたはボタンを使用します。参加機能を使用できるのは SCCP 電話機のみです。
- C 割り込み：共有回線のコールに自分自身を追加することによって、標準の（アドホック）会議を開催できます。回線ボタンを押すか、[C 割り込み] ソフトキーまたはボタンを使用します。C 割り込み機能を使用できるのは、共有回線を使用する電話機のみです。
- Meet-Me：会議番号にコールを発信することによって、会議を開催したり、会議に参加したりできます。[ミートミー] ソフトキーまたはボタンを使用します。

会議機能の使用方式

会議機能を使用すると、参加者それぞれにコールを発信できます。会議機能は、ほとんどの電話機で使用できます。

目的	必要な操作または状態の説明
会議を開催する	<ol style="list-style-type: none">1. 接続コールから、[会議] ソフトキーまたは [会議] ボタンを押します（必要に応じて、[会議] を表示するために [次へ] ソフトキーを押します）。2. 参加者の電話番号を入力します。3. コールの接続を待ちます。4. [会議] ソフトキーまたは [会議] ボタンを再び押して、新しい参加者をコールに追加します。5. この操作を繰り返して、参加者を 1 人ずつ追加します。
既存の会議に新しい参加者を追加する	上記の手順を繰り返します。 会議の開催者以外が参加者を追加または削除できるかどうかは、システム管理者が決定します。
参加者のリストを表示する、または参加者を削除する	P.35 の「 会議参加者の表示または削除 」を参照してください。

参加機能の使用方式

(SCCP 電話機のみ)

参加機能を使用すると、複数の既存のコールを結合して、自分が参加者となる会議を開催できます。

目的	必要な操作または状態の説明
単一の電話回線上の複数の既存コールを結合して会議を開催する	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブなコールで会議に含める別のコールを強調表示し、[選択] を選択します。 選択したコールに、アイコン  が表示されます。 2. 追加するコールごとにこのステップを繰り返します。 3. [参加] を押します (必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[参加] を表示します)。
複数の電話回線上の複数の既存コールを結合して会議を開催する	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブなコールで [参加] を押します (必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[参加] を表示します)。 2. 会議に含めるコールに対応する、緑色で点滅している回線ボタン  を押します。 次のどちらかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • コールが結合されます。 • 結合するコールを選択するよう求めるウィンドウが電話機のスクリーンに表示されます。操作を完了するには、コールを強調表示し、[選択] を押してから、[参加] を押します。 <p> (注) 複数回線のコールの参加が電話機でサポートされていない場合は、参加機能を使用する前に、コールを単一の回線に転送します。</p>
2 つの既存の会議を結合する	<p>[参加] ソフトキーまたは [D 転送] ソフトキーを使用します。</p> <p>この機能が使用可能になっているかどうかをシステム管理者に確認します。</p>
参加者のリストを表示する、または参加者を削除する	<p>P.35 の「会議参加者の表示または削除」を参照してください。</p>

C 割り込みの使用方法

C 割り込みを使用すると、共有回線のコールに自分自身を追加することによって、会議を開催できます。

目的	必要な操作または状態の説明
共有回線のコールに割り込んで会議を開催する	共有回線の回線ボタンを押します。 場合によっては、コールを強調表示し、[C 割込] を押して操作を完了する必要があります。 詳細については、P.44 の「割り込みの使用による共有回線のコールへの参加」を参照してください。
参加者のリストを表示する、または参加者を削除する	P.35 の「会議参加者の表示または削除」を参照してください。

Meet-Me の使用方法

Meet-Me 会議では、会議番号に発信することで、会議の開催や参加をすることができます。

目的	必要な操作または状態の説明
Meet-Me 会議を開催する	<ol style="list-style-type: none">1. システム管理者から Meet-Me 電話番号を取得します。2. 参加者に番号を配布します。3. 会議を開催する準備ができたなら、オフフックにしてダイヤルトーンを受信し、[ミートミー] を押します。4. Meet-Me 会議番号をダイヤルします。 ダイヤルインすることにより、参加者は会議に参加することができます。 <p> (注) 会議の開催者が参加する前に、参加者が会議にコールした場合、その参加者にはビジー音が聞こえます。この場合、参加者はコールバックする必要があります。</p>
Meet-Me 会議に参加する	Meet-Me 会議番号をダイヤルします（この番号は会議の開催者から提供されます）。 <p> (注) 会議の開催者の参加より前に会議にコールすると、ビジー音が聞こえます。この場合、再びコールします。</p>
Meet-Me 会議を終了する	参加者全員が、切断する必要があります。 会議の開催者が切断しても、会議は自動的に終了しません。

ヒント

セキュリティ保護されていない電話機から安全な Meet-Me 会議番号にコールすると、電話機に「認証されていないデバイス」というメッセージが表示されます。詳細については、P.48 の「安全なコールの送受信」を参照してください。

会議参加者の表示または削除

標準の（アドホック）会議の開催中に、参加者のリストを表示したり、参加者を削除したりできます。

会議の参加者のリストを表示する	[参加者] または [会議リスト] を押します。 会議に参加した順序に従って、参加者がリストに表示されます。最後に追加された参加者がリストの先頭になります。
会議の参加者のリストを更新する	会議の参加者のリストを表示している状態で、[更新] を押します。
会議の開催者を確認する	会議リストを表示している状態で、リストの末尾までスクロールして、会議の開催者（名前の横にアスタリスク（*）の付いた参加者）を検索します。
会議の任意の参加者を削除する	会議の参加者のリストを表示している状態で、参加者の名前を強調表示し、[削除] を押します。
会議に最後に追加された参加者を削除する	会議の参加者のリストを表示している状態で、[ドロップ] ソフトキーまたは [最後の参加者の削除] ボタンを押します。
会議コールのセキュリティを確認する	「会議」の次に  アイコンまたは  アイコンが表示されているかどうか電話機のスクリーンで確認します。
セキュリティ保護されている電話機から参加者がコールを発信していることを確認する	参加者の名前の横に  アイコンまたは  アイコンが表示されているかどうか電話機のスクリーンで確認します。
別の参加者を追加する	P.32 の「会議機能の使用法」を参照してください。

インターコム コールの発信と受信

ミュートをアクティブにしたスピーカフォン モードでコールに自動応答する電話機に対してインターコム コールを発信できます。一方向のインターコム コールでは、受信者に短いメッセージを配信できます。受信者のハンドセットまたはヘッドセットが使用中の場合、使用中のデバイスに音声を送信されます。受信者が現在実行中のコール アクティビティはすべて同時に継続されます。

受信者はインターコムのアラート トーンを受信した後で、次のいずれかを選択できます。

- 発信者の通話を聞く（受信者は発信者の声が聞こえるが、発信者は受信者の声が聞こえない）。
- インターコム コールにフォーカスが置かれた状態で、[終了] ソフトキーを押してインターコム コールを終了する。メッセージを聞かない場合はこの方法を選択します。
- アクティブなインターコム ボタンを押し、ハンドセット、ヘッドセット、スピーカのいずれかを使用して、発信者と会話する。インターコム コールは双方向の接続になるため、発信者と対話できます。

インターコム機能を使用する場合は、次の点に注意してください。

- 1つのインターコム回線からは、他のインターコム回線にのみダイヤルできます。
- 一度に1つのインターコム回線のみ使用できます。
- アクティブなコールが監視または記録されているときは、インターコム コールの受信または発信ができません。
- インターコム コールを保留にすることはできません。



(注) エクステンション モビリティ プロファイルを使用してデスクトップ電話機に毎日ログインする場合は、エクステンション モビリティ プロファイルがインターコム機能を含むようにシステム管理者によって設定されていることを確認してください。

目的	必要な操作または状態の説明
事前設定したインターコムの通話相手にインターコム コールを発信する	 （インターコムの通話相手の回線）を押し、インターコムのアラート トーンが聞こえてから通話を開始します。

目的	必要な操作または状態の説明
任意のインターコム番号にインターコム コールを発信する	 (インターコム回線) を押します。インターコムの通話相手の番号または相手の短縮ダイヤル番号を入力します。インターコムのアラート トーンが聞こえてから通話を開始します。
インターコム コールを受信する	インターコムのアラート トーンが聞こえたら、次のいずれかの方法でコールを処理します。 <ul style="list-style-type: none">• 一方向のオーディオでメッセージを聞きます。•  (アクティブなインターコム回線) を押して発信者と会話をします。• インターコム コールにフォーカスが置かれた状態で [終了] を押しします。

応用的なコール処理

応用的なコール処理のタスクには、特別な機能が伴うため、コール処理の需要や作業環境に応じて、システム管理者に電話機の設定を依頼します。

短縮ダイヤル

短縮ダイヤル機能により、インデックス番号の入力、ボタンの押下、または、電話スクリーン項目の選択を行い、発信できます。設定に応じて、電話機で、複数の短縮ダイヤル機能をサポートできます。

- 短縮ダイヤル ボタン
- 固定短縮ダイヤル
- ファーストダイヤル



- (注)
- 短縮ダイヤルおよび固定短縮ダイヤルを設定するには、ユーザ オプション Web ページにアクセスする必要があります。P.69 の「[ユーザ オプション Web ページへのアクセス](#)」を参照してください。
 - ファーストダイヤルを設定するには、パーソナルディレクトリ機能にアクセスする必要があります。P.62 の「[電話機でのパーソナルディレクトリの使用方法](#)」を参照してください。
 - システム管理者が、短縮ダイヤルを設定することができます。

目的	必要な操作または状態の説明
短縮ダイヤル ボタンを使用する	<ol style="list-style-type: none">1. 短縮ダイヤル ボタンを設定します。P.73 の「Web での短縮ダイヤルの設定」を参照してください。2. コールを発信するには、 (短縮ダイヤル ボタン) を押します。 <p> (注) 電話機が Busy Lamp Field (BLF; ビジー ランプ フィールド) 短縮ダイヤル機能をサポートする場合は、短縮ダイヤル番号が話中であるかどうかを、ダイヤルする前に確認できます。P.47 の「BLF の使用による回線の状態の判断」を参照してください。</p>

目的	必要な操作または状態の説明
固定短縮ダイヤルを使用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 固定短縮ダイヤル コードを設定します。P.73 の「Web での短縮ダイヤルの設定」を参照してください。 2. コールを発信するには、固定短縮ダイヤル コードを入力し、[短縮] を押します。
ファーストダイヤルを使用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個人アドレス帳エントリを作成し、ファースト ダイヤル コードを割り当てます。P.71 の「Web でのパーソナル ディレクトリの使用方法」を参照してください。 2. コールを発信するには、電話機からファースト ダイヤル サービスにアクセスします。P.62 の「電話機でのパーソナル ディレクトリの使用方法」を参照してください。

自分の電話機で他の電話機の着信に応答

コール ピックアップでは、同僚の電話機で呼び出し中のコールを自分の電話機にリダイレクトすることによって、そのコールに応答できます。同僚とコール処理を共有する場合、コール ピックアップを使用することができます。

目的	必要な操作または状態の説明
自分のコール ピックアップグループ内の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> - [ピック] ソフトキーまたは [ピック] ボタンが使用可能である場合、ソフトキーまたはボタンを押します。 - [ピック] ソフトキーまたは [ピック] ボタンが使用できない場合、オフフックにして [ピック] ソフトキーを表示してからソフトキーを押します。 <p>電話機が自動ピックアップをサポートする場合、すぐにコールに接続します。</p> 2. コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。

目的	必要な操作または状態の説明
グループ外の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> - [G ピック] ソフトキーまたは [グループピックアップ] ボタンが使用可能な場合、ソフトキーまたはボタンを押します。 - [G ピック] ソフトキーまたは [グループピックアップ] ボタンが使用できない場合、オフフックにして [G ピック] を表示してからソフトキーを押します。 2. グループ ピックアップのコードを入力します。 電話機が自動ピックアップをサポートする場合、すぐにコールに接続します。 3. コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。
自分のグループまたは関連付けられているグループ内の別の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> - [他 Grp] ソフトキーまたは [他のピックアップ] ボタンが使用可能な場合、キーまたはボタンを押します。 - [他 Grp] ソフトキーまたは [他のピックアップ] ボタンが使用できない場合、オフフックにして [他 Grp] ソフトキーを表示してからキーを押します。 <p>電話機が自動ピックアップをサポートする場合、すぐにコールに接続します。</p> 2. コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。

ヒント

- ユーザの電話機の設定によっては、ピックアップグループへのコールに関する音声または表示(あるいはその両方)によるアラートを受信する場合があります。
- [ピック] [G ピック] または [グループピックアップ] を押すと、一番長く鳴り続けているコールに接続します。
- [他 Grp] ソフトキーまたは [他のピックアップ] ボタンを押すと、プライオリティが一番高いピックアップグループのコールに接続します。
- 複数の回線があり、プライマリでない回線でコールに応答する場合、最初に目的の回線の  を押してからコールピックアップのソフトキーまたはボタンを押します。

パークされているコールの保存と取得

コールをパークすると、コールを保存し、Cisco Unified Communications Manager システムの別の電話機（同僚のデスクや会議室の電話機など）でコールを取得できます。

次の方法を使用してコールをパークできます。

- コールパーク : [パーク] ソフトキーを使用してコールを保存します。コールが保存されるコールパーク番号が電話機に表示されます。この番号を記録し、コールを取得する場合もこの番号を使用する必要があります。
- ダイレクトコールパーク : [転送] ソフトキーを使用して、ダイヤルまたは短縮ダイヤルする使用可能なダイレクトコールパーク番号にコールを転送します。ダイレクトコールパーク番号からコールを取得するには、パーク取得プレフィクスをダイヤルしてから、同じダイレクトコールパーク番号にダイヤルまたは短縮ダイヤルする必要があります。
[ダイレクトコールパーク] ボタンを使用して、ダイレクトコールパーク番号に短縮ダイヤルでき、ダイレクトコールパーク番号が使用中か使用可能かを監視できます。

目的	必要な操作または状態の説明
コールパークを使用してアクティブなコールを保存する	<ol style="list-style-type: none"> 1. コール中に [パーク] を押します（必要に応じて、[次へ] ソフトキーを押して、[パーク] を押します）。 2. 電話機のスクリーンに表示されたコールパーク番号を書き留めます。 3. 切断します。
パークされたコールを取得する	ネットワーク内の任意の Cisco Unified IP Phone でコールのパーク番号を入力し、コールに接続します。
アクティブなコールをダイレクトコールパーク番号に転送し、保存する	<ol style="list-style-type: none"> 1. コール中に [転送] を押します。 2. パーク未使用アイコン  が表示された [ダイレクトコールパーク] ボタン  を押し、ダイレクトコールパーク番号に短縮ダイヤルします。 パーク使用中アイコン  が表示された [ダイレクトコールパーク] ボタン  (点滅) は、そのダイレクトコールパーク番号が使用できないことを示しています。 3. もう一度 [転送] を押して、コールの保存を終了します。
パークされたコールをダイレクトコールパーク番号から取得する	ネットワーク内の任意の Cisco Unified IP Phone からパーク取得プレフィクスを入力し、ダイレクトコールパーク番号にダイヤルします。または、パーク取得プレフィクスを入力後に、  の表示された  (点滅) を押してコールに接続します。

ヒント

- パークされているコールを取得するまでの時間は制限されています。この時間を過ぎると元の番号に戻って呼出音が鳴ります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- システム管理者は、Cisco Unified IP Phone 7914 拡張モジュール付属の Cisco Unified IP Phone 7961G/GE で使用可能な回線ボタンに [ダイレクトコールパーク] ボタンを割り当てることができます。
- [ダイレクトコールパーク] ボタンが電話機にない場合でも、ダイレクト コール パーク番号にダイヤルできます。ただし、ダイレクト コール パーク番号の状態は表示されません。

ハント グループからのログアウト

大量の着信コールを受信する組織に属している場合、ハント グループのメンバーになっている可能性があります。ハント グループには、着信コールの負荷を共有する一連の電話番号が設定されています。ハント グループ内の最初の電話番号が使用中の場合は、次に使用可能な番号がグループ内で検索され、その電話機にコールが転送されます。

電話機から離れているときは、ハント グループからログアウトすることによって、ハント グループのコールが自分の電話機で鳴らないようにできます。

目的	必要な操作または状態の説明
ハント グループからログアウトして一時的にハント グループのコールをブロックする	[ハント] ソフトキーまたは [ハントグループ] ボタンを押します。電話機のスクリーンに「ハントグループからログアウト」と表示されます。
ログインしてハント グループのコールを受信する	[ハント] ソフトキーまたは [ハントグループ] ボタンを押します。ログインすると、[ハントグループ] ボタン  が点灯します。

ヒント

ハント グループからログアウトしても、ハント グループ以外のコールは引き続き着信します。

共有回線の使用

次の場合、システム管理者が共有ラインの使用を指示することがあります。

- 複数の電話機で1つの電話番号を使う
- 同僚とコール処理タスクを共有する
- マネージャに代わってコールを処理する

共有回線について

リモートで使用中のアイコン

共有回線の別の電話に接続コールがある場合、リモートで使用中のアイコン  が表示されます。リモートで使用中のアイコンが表示されている場合でも、共有回線では通常どおりにコールの発信や受信を行うことができます。

コール情報の共有と割り込み

共有回線の電話機には、共有回線で発信および受信したコールに関する情報がそれぞれ表示されます。この情報には、発信者 ID や通話時間などが含まれます(例外については、「[プライバシー](#)」の項を参照)。

コールに関する情報がこのように表示されているときは、**[割り込み]** または **[C 割込]** を使用して、回線を共有する同僚とともに、コールに参加することができます。P.44 の「[割り込みの使用による共有回線のコールへの参加](#)」を参照してください。

プライバシー

回線を共有している同僚に対して自分のコールに関する情報が表示されないようにするには、プライバシー機能を有効にします。この機能を有効にすると、自分のコールに同僚が割り込むのを防止することもできます。P.46 の「[他者による共有回線のコールの表示および割り込みの防止](#)」を参照してください。



(注) 共有回線でサポートされるコールの最大数は、電話機によって異なります。

割り込みの使用による共有回線のコールへの参加

割り込み機能 ([C 割込] または [割り込み]) を使用して、共有回線のコールに自分自身を追加できます (プライベート コール以外のコールである必要があります。P.43 の「共有回線の使用」を参照してください)。

割り込み機能について

割り込み機能には、C 割り込みと、ワンボタン割り込みまたはマルチタッチ割り込みがあります。

C 割り込みと割り込み

電話機の設定によって、[C 割込] または [割り込み] を使用して、共有回線のコールに自分自身を追加できる場合があります。

- [C 割込] を使用すると、コールを標準の会議に切り替え、新しい参加者を追加できます (標準の会議の詳細については、P.32 の「会議コールの使用方法」を参照してください)。
- [割り込み] を使用すると、コールに自分自身を追加することはできませんが、コールを会議に切り替えることや、新しい参加者を追加することはできません。

ワンボタン割り込みとマルチタッチ割り込み

電話機の割り込み機能 (C 割り込みまたは割り込み) がワンボタン機能またはマルチタッチ機能のどちらとして動作するかは、システム管理者が決定します。

- ワンボタン割り込みでは、回線ボタンを押してコールに割り込むことができます (SCCP 電話機のみ)。
- マルチタッチ割り込みでは、コール情報を表示した後で割り込むことができます。

割り込み機能の使用方法

次の表に、割り込み機能（C 割り込みまたは割り込み）を使用して共有回線のコールに参加する方法を示します。

目的	必要な操作または状態の説明
共有回線が使用中であることを確認する	赤い回線ボタン  の横にある、リモートで使用中のアイコン  を確認します。
共有回線のコールに参加する	共有回線の赤い回線ボタン  を押します。 次のどちらかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • コールに追加されます。 • 割り込み先のコールを選択するよう求めるウィンドウが電話機のスクリーンに表示されます。操作を完了するには、[割り込み] または [C 割り込] を押します（必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[割り込み] または [C 割り込] を表示します）。
会議の参加者を表示する（C 割り込みを使用した場合）	P.35 の「 会議参加者の表示または削除 」を参照してください。

ヒント

- コールに割り込むと、他の参加者に対して自分の存在を知らせるピープ音が鳴ります。[C 割り込] を使用した場合は、他の参加者に短い割り込み音が聞こえ、電話機のスクリーンが切り替わって会議の詳細が表示されます。
- 共有回線の電話機でプライバシー機能が有効な場合、コールの情報や割り込みのソフトキーは、回線を共有する別の電話機には表示されません。
- [割り込み] を使用して参加したコールが保留状態になるか、転送されるか、または会議コールに切り替えられた場合は、そのコールから切断されます。

他者による共有回線のコールの表示および割り込みの防止

電話回線を共有する場合、プライバシー機能を使用し、回線を共有している他者が自分のコールを表示したり自分のコールに割り込んだりする（コールに参加する）のを防止することができます。

目的	必要な操作または状態の説明
他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりするのを防止する	<ol style="list-style-type: none">1. [非通知 ] を押します。2. プライバシー機能がオンになっていることを確認するには、オレンジの回線ボタン  の横にある、プライバシー機能が有効のアイコン  を確認します。
他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりするのを許可する	<ol style="list-style-type: none">1. [非通知 ] を押します。2. プライバシー機能がオフであることを確認するには、点灯していない回線ボタン  の横にある、プライバシー機能が無効のアイコン  を確認します。

ヒント

- 回線を共有している電話機でプライバシー機能が有効になっている場合、共有回線を通常どおり使用して、コールの発信や受信ができます。
- プライバシー機能は、使用している電話機のすべての共有回線に適用されます。したがって、複数の共有回線でプライバシー機能を有効にすると、自分が共有している回線すべてにおいて、同僚がコールを表示したりコールに割り込んだりすることを防止できます。

BLF の使用による回線の状態の判断

設定に応じて、Busy Lamp Field (BLF; ビジー ランプ フィールド) を使用して、短縮ダイヤル ボタン、履歴、またはディレクトリのリストと関連付けられた別の電話回線の状態を電話機で判断できます。この回線にコールを発信することは、BLF ステータスにかかわらず可能です。この機能は、ダイヤルを妨げるものではありません。

目的	必要な操作または状態の説明
短縮ダイヤル回線の状態を確認する	<p>回線番号の横にあるインジケータを確認します。次のいずれかが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none">  +  回線は使用中です。  +  回線はアイドルの状態です。  この回線では、BLF インジケータは使用できません。  +  回線はサイレント状態です。
履歴またはディレクトリに表示されている回線の状態を確認する	<p>回線番号の横にあるインジケータを確認します。次のいずれかが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none">  回線は使用中です。  回線はアイドルの状態です。  この回線では、BLF インジケータは使用できません。  回線はサイレント状態です。

安全なコールの送受信

システム管理者が電話機システムをどのように設定したかによって異なりますが、電話機では安全なコールの送受信がサポートされます。

電話機では、次のタイプのコールをサポートできます。

- **認証されたコール**：コールに参加しているすべての電話機の ID が検証されています。
- **暗号化されたコール**：電話機は、Cisco IP ネットワーク内で暗号化されたオーディオ（会話）を送受信しています。暗号化済みのコールは認証済みのコールでもあります。
- **ノンセキュア コール**：参加している電話機または接続の少なくとも 1 つでセキュリティ機能がサポートされていないか、電話機が検証できません。

目的	必要な操作または状態の説明
コールまたは会議のセキュリティ レベルを確認する	<p>コール アクティビティ領域の右上、通話時間タイマーの横にあるセキュリティ アイコンが、次のいずれかの状態になっていることを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 認証されたコールまたは会議 暗号化されたコールまたは会議 ノンセキュアなコールまたは会議
社内で安全なコールを発信できるかどうかを判断する	システム管理者にお問い合わせください。



(注) 相互作用や制約、制限によって、電話機におけるセキュリティ機能の動作が悪影響を受ける場合があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

不審なコールのトレース

(SCCP 電話機のみ)

不審 (迷惑) なコールを受信している場合、システム管理者は電話機に Malicious Call Identification (MCID; 迷惑呼 ID) 機能を追加できます。この機能を使用すると、アクティブなコールを不審なコールとして識別できます。その結果、一連のトラッキングと通知のメッセージが自動的に発信されます。

目的	必要な操作または状態の説明
システム管理者に不審なコールまたは嫌がらせのコールの受信を通知する	[迷惑呼] ソフトキーまたは [迷惑呼 ID] ボタンを押します。 電話機でトーンが再生され、電話機に「迷惑呼が成功しました」というメッセージが表示されます。

重要なコールの優先順位付け

(SCCP 電話機のみ)

官庁のような特別な環境では、緊急または重要なコールを発信および受信しなければならない場合があります。この特別なコール処理が必要な場合は、電話機への Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) の追加をシステム管理者に依頼します。

次の用語に留意してください。

- *Precedence* : コールに関連付けられたプライオリティを示します。
- *Preemption* : プライオリティの低い既存のコールを終了して、電話機に送信されたプライオリティのより高いコールを受け入れる処理です。

目的または状態	必要な操作または状態の説明
発信コールのプライオリティレベル (Precedence) を選択する	対応するコールの Precedence 番号のリストについては、システム管理者にお問い合せください。
プライオリティ (Precedence) コールをかける	電話番号の前に、システム管理者から提供された MLPP アクセス番号を入力します。
特別な呼出音 (通常より速い) または特別なコール ウェイティングのトーンが鳴る	プライオリティ (Precedence) コールを受けていることを意味します。コールのプライオリティレベルは、電話スクリーン上の MLPP アイコンによって示されます。

目的または状態	必要な操作または状態の説明
<p>コールのプライオリティ レベルを確認する</p>	<p>電話スクリーン上の MLPP アイコンを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ プライオリティ コール  プライオリティのやや高い (即時) コール  プライオリティの高い (フラッシュ) コール  プライオリティの最も高い (フラッシュ オーバーライド) コール、つまりエグゼクティブ オーバーライド コール <p>より高いプライオリティのコールが、コール リストの先頭に表示されます。MLPP アイコンが表示されていない場合、コールのプライオリティ レベルは通常 (ルーチン) です。</p>
<p>プライオリティのより高いコールを受け入れる</p>	<p>コールに通常どおり応答します。必要に応じて、アクティブなコールを先に終了します。</p>
<p>コール中に連続したトーンが聞こえる</p>	<p>自分または通話相手が、現在のコールより優先されるべきコールを受信しています。すぐに切断し、プライオリティのより高いコールの呼出音が鳴るようにします。</p>

ヒント

- MLPP が有効なコールを発信または受信すると、標準のトーンとは異なる特別な呼出音とコール ウェイティングのトーンが鳴ります。
- MLPP を使用すると、サイレント機能が無効になります。
- 無効な MLPP アクセス番号を入力すると、音声によるアナウンスでエラーが通知されます。
- 次の場合には、MLPP が有効なコールのプライオリティと優先ステータスがそのまま維持されます。
 - コールを保留にする
 - コールを転送する
 - コールを 3 者会議に追加する
 - [ピック] を使用してコールに応答する

Cisco エクステンション モビリティの使用法

Cisco エクステンション モビリティ (EM) を使って、自分用に Cisco Unified IP Phone を一時的に設定することができます。EM にログインすると、電話機が、電話回線、機能、設定されたサービス、および Web ベースの設定といったユーザ プロファイルを選択します。システム管理者は、EM を設定する必要があります。

目的	必要な操作または状態の説明
EM へのログイン	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [EM Service] を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. ユーザ ID および PIN (システム管理者より提供されたもの) を入力します。 3. 指示がある場合、デバイス プロファイルを選択します。
EM からのログアウト	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [EM Service] を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. ログアウトの指示があったら、[Yes] を押します。

ヒント

- 一定の時間が過ぎると、EM によって自動的にログアウトされます。この時間制限は、システム管理者により設定されます。
- ユーザ オプション Web ページを使用して EM プロファイルに加えた変更は、電話機で EM にログインしている場合はすぐに有効になります。ログインしていない場合は、次回ログインしたときに有効になります。
- ユーザ オプション Web ページを使用して電話機に加えた変更は、EM からログアウトしている場合はすぐに有効になります。ログアウトしていない場合は、ログアウトした後に有効になります。
- 電話機によって制限を受けるローカル設定は、EM プロファイルには保存されません。

1つの電話番号を使用したビジネス コールの管理

モバイル コネクトとモバイル ボイス アクセスをインストールしておく、デスクトップの電話番号に関連付けられているコールを携帯電話で処理できます。スマートフォンは、Web ブラウジング、電子メール、アドレス帳、カレンダーといったパーソナル コンピュータの機能を備えたモバイル電話機の一つです。

目的	必要な操作または状態の説明
モバイル コネクトを設定する	ユーザ オプション Web ページを使用して、リモート接続先を設定し、特定の電話番号からのコールがリモート接続先に渡されるのを許可またはブロックするためのアクセス リストを作成します。P.78の「 モバイル コネクト用の電話機とアクセス リストの設定 」を参照してください。
携帯電話でコールに応答する	P.22の「 コールへの応答 」を参照してください。
進行中のコールをデスクの電話機と携帯電話との間で切り替える	P.26の「 進行中のコールを他の電話機に切り替え 」を参照してください。
スマートフォンで応答したコールを保留にする	<ol style="list-style-type: none">1. スマートフォンの [保留] (正確なソフトキー名は異なる場合があります) ソフトキーを押します。 通話相手は保留状態になります。2. スマートフォンの [復帰] (名前は異なる場合があります) ソフトキーを押します。P.26の「進行中のコールを他の電話機に切り替え」を参照してください。
スマートフォンで応答したコールを別の番号に転送する	<ol style="list-style-type: none">1. スマートフォンの [転送] (正確なソフトキー名は異なる場合があります) ソフトキーを押します。2. コール転送用のエンタープライズ アクセス コードをダイヤルし、新規コールを開始します。通話相手は保留状態になります。3. [転送] ソフトキーを押してコールの転送を完了します。
スマートフォンで応答したコールで会議コールを開始する	<ol style="list-style-type: none">1. スマートフォンの [会議] (正確なソフトキー名は異なる場合があります) ソフトキーを押します。2. 会議用のエンタープライズ アクセス コードをダイヤルし、新規コールを開始します。通話相手は保留状態になります。3. [会議] ソフトキーを押して、会議の設定を完了し、両方の発信者を会議に含めます。
モバイル ボイス アクセスに接続する	<ol style="list-style-type: none">1. 任意の電話機から、割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号にダイヤルします。2. 発信番号 (要求された場合) と PIN を入力します。

目的	必要な操作または状態の説明
携帯電話からモバイルコネクトを有効にする	<ol style="list-style-type: none"> 1. 割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号にダイヤルします。 2. 携帯電話の番号（要求された場合）と PIN を入力します。 3. 2 を押してモバイル コネクトを有効にします。 4. モバイル コネクト有効化の対象を選択します。設定済みの電話機すべて、または 1 台のみです。 <ul style="list-style-type: none"> - すべての電話機の場合：2 を入力します。 - 1 台の電話機の場合：1 を入力します。次にリモート接続先として追加する番号を入力し、続けて # を入力します。
携帯電話からコールを発信する	<p>P.20 の「コールの発信：その他のオプション」を参照してください。</p>
携帯電話からモバイルコネクトを無効にする	<ol style="list-style-type: none"> 1. 割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号にダイヤルします。 2. 携帯電話の番号（要求された場合）と PIN を入力します。 3. 3 を押してモバイル コネクトを無効にします。 4. モバイル コネクト無効化の対象を選択します。設定済みの電話機すべて、または 1 台のみです。 <ul style="list-style-type: none"> - すべての電話機の場合：2 を入力します。 - 1 台の電話機の場合：1 を入力します。次にリモート接続先として削除する番号を入力し、続けて # を入力します。

ヒント

- 次の条件が当てはまる場合、モバイル ボイス アクセスにコールするときは PIN に加えて発信番号も入力する必要があります。
 - 発信している番号がリモート接続先の番号でない場合。
 - 通信事業者によって番号がブロックされている（「不明な番号」と表示される）場合。
 - 番号が Cisco Unified Communications Manager のデータベースと完全には一致しない場合。たとえば、ユーザの番号が 510-666-9999 でデータベースに表示されている番号が 666-9999 の場合や、ユーザの番号が 408-999-6666 でデータベースには 1-408-999-6666 と入力されている場合などがこれに当てはまります。
- 要求された情報（携帯電話の番号または PIN）の入力を 3 回連続して誤ると、モバイル ボイス アクセス コールから切断され、一定の時間ロックアウトされます。この場合はシステム管理者に連絡してサポートを受けてください。

ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法

ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンと一緒に電話機を使用できます。

目的	必要な操作または状態の説明
ハンドセットを使用する	<p>オフフックにするにはハンドセットを取り上げます。オンフックにするにはハンドセットを置きます。</p> <p>ハンドセットのためのワイドバンド設定を変更する必要がある場合（ハンドセットを変更する場合など）、 > [ユーザ設定] > [オーディオ設定] > [ワイドバンドハンドセット] を選択します。ワイドバンド ハンドセットの設定がグレー表示になっている場合、ユーザはこの設定を制御できません。</p>
ヘッドセットを使用する	<p>ヘッドセット モードのオン / オフを切り替えるには、 を押します。ヘッドセットの使用中は、 や  など、電話機のすべてのコントロールにアクセスできます。</p> <p>自動応答を使用する場合は、P.56 の「自動応答の使用」を参照してください。</p> <p>ワイドバンドをサポートするヘッドセットを使用する場合は、電話機でワイドバンドの設定を有効にすると、オーディオの感度が上がる場合があります（この設定はデフォルトでは無効になっています）。この設定にアクセスするには、 > [ユーザ設定] > [オーディオ設定] > [ワイドバンドヘッドセット] を選択します。ワイドバンド ヘッドセットの設定がグレー表示になっている場合、ユーザはこの設定を制御できません。</p> <p>システム管理者に、電話機システムがワイドバンドを使用するように設定されているかどうかを確認します。システムがワイドバンド対応に設定されていない場合は、ワイドバンド ヘッドセットを使用してもオーディオの感度が上がったとは感じられない場合があります。ヘッドセットの詳細については、ご使用のヘッドセットのマニュアルを参照するか、システム管理者にお問い合わせください。</p>

目的	必要な操作または状態の説明
スピーカフォンを使用する	<p>スピーカフォン モードのオン/オフを切り替えるには、 を押します。</p> <p>ハンドセットが受け台に置かれていて、 が点灯していないときに電話番号をダイヤル、またはコールに应答すると、通常はスピーカフォン モードが自動的に有効になります。</p>
コール中に(ハンドセットから)スピーカフォンまたはヘッドセットに切り替える	<p> または  を押し、ハンドセットを置きます。</p>
コール中に(スピーカフォンまたはヘッドセットから)ハンドセットに切り替える	<p>ボタンは何も押さずに、ハンドセットを取り上げます。</p>
コールの音量レベルを調節する	<p>コール中またはダイヤル トーンが聞こえているときに  を押します。</p> <p>この操作によって、ハンドセット、スピーカフォン、またヘッドセットの使用状況に応じて、それらのボリュームを調節します。</p> <p>[保存] を押して、以降のコールのために音量レベルを保存します。</p>

ヘッドセットの購入

電話機では、電話線が 4 本または 6 本のヘッドセットのジャックがサポートされています。ヘッドセットの購入については、P.6 の「ヘッドセットについて」を参照してください。

自動応答の使用

自動応答が有効である場合、電話機は、2～3回の呼出音の後、自動的に着信コールに応答します。システム管理者は、スピーカフォンまたはヘッドセットのいずれかの使用時に自動応答するように設定します。大量の着信コールを受ける場合、自動応答を使用すると便利です。

目的または状態	必要な操作または状態の説明
ヘッドセットで自動応答を使用する	<p>通話中以外も、ヘッドセット モードを有効（つまり  が点灯した状態）にしておきます。</p> <p>ヘッドセット モードを有効にするには、次の手順を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none">• [終了] を押して切断します。• [発信] または [ダイヤル] を押して、新しいコールを発信します。 <p>電話機がヘッドセット モードで自動応答を使用するように設定されていると、 が点灯している場合に限り、コールが自動的に応答されます。その状態でない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動でそのコールに応答する必要があります。</p>
スピーカフォンで自動応答を使用する	<p>ハンドセットを受け台に置き、ヘッドセット モードを非アクティブ（ が消灯）にしておきます。</p> <p>条件が満たされていない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動で応答する必要があります。</p>

ヒント

自動応答は、サイレント機能がアクティブの場合は無効になります。

履歴およびディレクトリの使用方法

この項では、履歴およびディレクトリの使用方法について説明します。両方の機能にアクセスするには、ディレクトリ ボタン  を使用します。

履歴の使用方法

電話機は、履歴を保持しています。履歴には、コールに関する不在履歴、発信履歴、および着信履歴があります。

目的	必要な操作または状態の説明
履歴を表示する	 > [不在履歴]、[発信履歴]、または [着信履歴] を選択します。それぞれに最大 100 件のレコードを保存できます。
1 つのコールレコードの詳細を表示する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。 2. コールレコードを強調表示します。 3. [詳細] を押します。この操作により、着信番号、発呼番号、時刻、通話時間などの情報 (発信履歴と着信履歴の場合のみ) が表示されます。
すべての履歴からすべてのコールレコードを削除する	 を押してから [クリア] を押します。
1 つの履歴からすべてのコールレコードを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。 2. コールレコードを強調表示します。 3. [クリア] を押します (必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[クリア] を表示します)。
1 つのコールレコードを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。 2. コールレコードを強調表示します。 3. [削除] を押します。

目的	必要な操作または状態の説明
履歴からダイヤルする (別のコールに接続して いない状態)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。 2. コールレコードを強調表示します。 <hr/> <p>(注) [詳細] ソフトキーが表示された場合、コールはマルチパーティコールのプライマリエントリです。後述する「ヒント」の項を参照してください。</p> <hr/> <ol style="list-style-type: none"> 3. 表示された番号を編集する必要がある場合、[編集] を押します。次に、<< または >> を押します。番号を削除するには、[編集] を押した後、[削除] を押します (必要に応じて、[削除] を表示するために [次へ] ソフトキーを押します)。 4. オフフックにしてコールを発信します。
履歴からダイヤルする (別のコールに接続した 状態)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。 2. コールレコードを強調表示します。 <hr/> <p>(注) [詳細] ソフトキーが表示された場合、コールはマルチパーティコールのプライマリエントリです。後述する「ヒント」の項を参照してください。</p> <hr/> <ol style="list-style-type: none"> 3. 表示された番号を編集する必要がある場合、[編集] を押します。次に、<< または >> を押します。番号を削除するには、[編集] を押した後、[削除] を押します (必要に応じて、[削除] を表示するために [次へ] ソフトキーを押します)。 4. [ダイヤル] を押します。 5. 元のコールの処理に対応するメニュー項目を、次の中から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> - [保留]: 最初のコールを保留にし、2番目のコールをダイヤルします。 - [転送]: 最初の通話相手を2番目の通話相手に転送し、自分のコールを終了します (操作を完了するには、ダイヤルした後で [転送] をもう一度押します)。 - [会議]: 自分も含めすべての通話相手との間で会議コールを作成します (操作を完了するには、ダイヤルした後で [会議] ソフトキーまたは [会議] ボタンをもう一度押します)。 - [終了]: 最初のコールを切断し、2番目のコールをダイヤルします。

目的	必要な操作または状態の説明
履歴内の回線が使用中であるかどうかを、その回線にコールを発信する前に確認する	ビジー ランプ フィールドのインジケータを確認します。P.47 の「BLF の使用による回線の状態の判断」を参照してください。
履歴の URL エントリからコールを発信する(SIP 電話機のみ)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。 2. ダイヤルする URL エントリを強調表示します。 3. エントリを編集する必要がある場合は、[編集] を押します。 4. @アイコンが表示され、URL エントリの文字の編集を開始できることが示されます。 5. [ダイヤル] を押します。
インターコム コールの履歴を表示する	 > [インターコム履歴] を選択します。最新 25 件のインターコム コールの詳細が記録されます。このリストからはインターコムの番号をダイヤルできません。

ヒント

(SCCP 電話機のみ)

マルチパーティ コール (転送されてきたコールなど) の完全なコール レコードを表示するには、該当のコール レコードを強調表示して、[詳細] を押します。詳細レコードでは、不在または着信のマルチパーティ コールごとに 2 つのエントリが表示されます。エントリは、新しい順に表示されます。

- 先頭に記録されたエントリは、電話機が受信した複数のコールの中で、直近に完了したコールの名前と番号です。
- 2 番目に記録されたエントリは、電話機が受信した複数のコールのうち一番初めに完了したコールの名前と番号です。

ディレクトリ ダイヤリング

設定に応じて、電話機で、社内ディレクトリ機能およびパーソナル ディレクトリ機能をサポートできます。

- 社内ディレクトリ：ご使用の電話機でアクセスできる社内の連絡先です。社内ディレクトリの設定および保守は、システム管理者によって行われます。
- パーソナル ディレクトリ：使用可能な場合、ご使用の電話機およびユーザ オプション Web ページから設定およびアクセスできる個人用連絡先および関連付けられた短縮ダイヤル コードです。パーソナル ディレクトリは、Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳) とファースト ダイヤルで構成されます。
 - PAB は、個人用連絡先のディレクトリです。
 - ファースト ダイヤルは、すばやくダイヤルできるように、コードを PAB エントリに割り当てるために使用します。

電話機での社内ディレクトリの使用方法

社内ディレクトリを使用して、同僚にコールを発信できます。

目的	必要な操作または状態の説明
社内ディレクトリログからダイヤルする(別のコールに接続していない状態)	<ol style="list-style-type: none">1.  > [社内ディレクトリ] を選択します (名前は異なる場合があります)。2. キーパッドを使用して、名前の全部、または一部を入力し、[検索] を押します。3. ダイヤルするには、リスト項目を選択するか、リスト項目までスクロールしてオフフックにします。

目的	必要な操作または状態の説明
社内ディレクトリログからダイヤルする(別のコールに接続している状態)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [社内ディレクトリ] を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. キーパッドを使用して、名前の全部、または一部を入力し、[検索] を押します。 3. リストをスクロールして、[ダイヤル] を押します。 4. 元のコールの処理に対応するメニュー項目を、次の中から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> - [保留]: 最初のコールを保留にし、2番目のコールをダイヤルします。 - [転送]: 最初の通話相手を2番目の通話相手に転送し、自分のコールを終了します (操作を完了するには、ダイヤルした後で [転送] をもう一度押します)。 - [会議]: 自分も含めすべての通話相手との間で会議コールを作成します (操作を完了するには、ダイヤルした後で [会議] ソフトキーまたは [会議] ボタンをもう一度押します)。 - [終了]: 最初のコールを切断し、2番目のコールをダイヤルします。
ディレクトリ内の電話回線が使用中であるかどうかを確認する	Busy Lamp Field (BLF; ピジー ランプ フィールド) のインジケータを確認します。P.47 の「BLF の使用による回線の状態の判断」を参照してください。

ヒント

キーパッドの番号を使用して、電話スクリーンの文字を入力します。電話機のナビゲーション ボタンを使用して、入力フィールド間を移動します。

電話機でのパーソナルディレクトリの使用方法

パーソナルディレクトリ機能セットには、Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳) とファーストダイヤルが含まれています。この項では、電話機でのパーソナルディレクトリの設定方法および使用方法について説明します。または、P.71 の「Web でのパーソナルディレクトリの使用方法」を参照してください。

目的	必要な操作または状態の説明
パーソナルディレクトリにアクセスする (PAB およびファーストダイヤルコードを使用する場合)	<ol style="list-style-type: none">1.  > [パーソナルディレクトリ] を選択します (名前は異なる場合があります)。2. Cisco Unified Communications Manager のユーザ ID と PIN を入力し、[送信] を押します。
PAB エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none">1. パーソナルディレクトリにアクセスし、[個人アドレス帳] を選択します。2. 検索条件を入力し、[送信] を押します。3. [前へ] または [次へ] を選択して、リスト内を移動できます。4. 必要な PAB リスト項目を強調表示し、[選択] を押します。
PAB エントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none">1. リスト項目を検索します。2. そのリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。3. [ダイヤル] を押します (必要に応じて、[ダイヤル] を表示するために [次へ] ソフトキーを押します)。4. 参加者の電話番号を入力します。5. ダイヤルする番号を強調表示し、[OK] を押します。6. もう一度 [OK] を押して、その番号にダイヤルします。
PAB エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none">1. リスト項目を検索します。2. そのリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。3. [削除] を押します。4. [OK] を選択して、削除することを確認します。
PAB エントリを編集する	<ol style="list-style-type: none">1. リスト項目を検索します。2. そのリスト項目を強調表示し、[編集] を押して名前または電子メールアドレスを修正します。3. 必要に応じて、[電話] を選択して電話番号を修正します。4. [更新] を押します。

目的	必要な操作または状態の説明
新規 PAB エントリを追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. パーソナルディレクトリにアクセスし、[個人アドレス帳]を選択します。 2. [送信]を選択することで、[検索]ページにアクセスします(最初に検索情報を入力する必要はありません)。 3. [新規]を押します。 4. 電話機のキーパッドを使用して、名前と電子メール情報を入力します。 5. [電話]を選択し、キーパッドを使用して電話番号を入力します。必要なアクセスコード(9または1など)を必ず含めます。 6. [送信]を選択して、エントリをデータベースに追加します。
ファーストダイヤルコードを PAB エントリに割り当てる	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを検索します。 2. そのリスト項目を強調表示し、[選択]を押します。 3. [ファーストダイヤル]を押します。 4. ダイヤルする番号を強調表示し、[選択]を押します。 5. 番号に割り当てるファーストダイヤルコードを強調表示し、[選択]を押します。
新規ファーストダイヤルコードを追加する(PAB エントリを使用しない場合)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [パーソナルディレクトリ] > [個人ファーストダイヤル]を選択します。 2. [ファーストダイヤル]を押します。 3. 割り当てられていないファーストダイヤルコードを強調表示し、[選択]を押します。 4. [割り当て]を押します。 5. 電話番号を入力します。 6. [更新]を押します。
ファーストダイヤルコードを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [パーソナルディレクトリ] > [個人ファーストダイヤル]を選択します。 2. [前へ]または[次へ]を選択して、リスト内を移動できます。 3. 必要なリスト項目を強調表示し、[選択]を押します。
ファーストダイヤルコードを使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファーストダイヤルコードを検索します。 2. 必要なリスト項目を強調表示し、[選択]を押します。 3. [ダイヤル]を押します。 4. [OK]を選択して、操作を完了します。

目的	必要な操作または状態の説明
ファースト ダイアル コードを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファースト ダイアル コードを検索します。 2. 必要なりスト項目を強調表示し、[選択] を押します。 3. [削除] を押します。
パーソナル ディレクトリからログアウトする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [パーソナルディレクトリ] を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. [ログアウト] を選択します。

ヒント

- システム管理者は、ユーザがパーソナル ディレクトリにログインするために必要なユーザ ID および PIN を指定できます。
- パーソナル ディレクトリでは、一定の時間が過ぎると自動的にログアウトされます。この時間制限は、設定によって異なります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- キーボードの番号を使用して、電話スクリーンの文字を入力します。電話機のナビゲーション ボタンを使用して、入力フィールド間を移動します。

電話機の設定の変更方法

呼出音のトーン、背景イメージ、またはその他の設定を調整することにより、Cisco Unified IP Phone をカスタマイズすることができます。

呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ

着信コールや新しいボイスメール メッセージの示し方をカスタマイズできます。また、電話機の呼出音の音量を調節することができます。

目的	必要な操作または状態の説明
回線ごとの呼出音のトーンを変更する	<ol style="list-style-type: none">  > [ユーザ設定] > [呼出音] を選択します。 電話回線またはデフォルトの呼出音の設定を選択します。 呼出音のトーンを選択してそのサンプルを再生します。 [選択] および [保存] を押して、呼出音のトーンを設定します。または、[キャンセル] を押します。
電話機の呼出音の音量レベルを調節する	<p>ハンドセットが受け台に置かれていて、ヘッドセットとスピーカフォンのボタンがオフになっている状態で、 を押します。設定した呼出音の音量が自動的に保存されます。</p>
電話機のオーディオ ボイスメッセージ インジケータを鳴らす方法を変更する	<ol style="list-style-type: none"> ユーザ オプション Web ページにログインします (P.69 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。 メッセージ インジケータの設定にアクセスします (P.76 の「Web での回線設定の制御」を参照してください)。
ハンドセットにあるボイスメッセージのランプの動作を変更する	<ol style="list-style-type: none"> ユーザ オプション Web ページにログインします (P.69 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。 メッセージ インジケータの設定にアクセスします (P.76 の「Web での回線設定の制御」を参照してください)。
	<p> (注) 通常、デフォルトのシステム ポリシーでは、ハンドセットのライト ストリップのランプが点灯することにより、新しいボイス メッセージがあることを示します。</p>

電話スクリーンのカスタマイズ

電話スクリーンの特性を調整できます。

目的	必要な操作または状態の説明
電話スクリーンのコントラストを変更する	<ol style="list-style-type: none">1.  > [ユーザ設定] > [コントラスト] を選択します。2. 調整するには、[アップ] [ダウン] または  を押します。3. [保存] または [キャンセル] を押します。 <p> (注) 非常に明るいか、または非常に暗いコントラストを間違っ て保存し、電話スクリーンの表示が見えなくなった場合、次の 操作を行います。</p> <p> を押してから、キーパッドで 1、3 を押します。</p> <p>次に、 を押して電話スクリーンの表示が見えるよ うになるまでコントラストを変更し、[保存] を押します。</p>
背景イメージを変更する	<ol style="list-style-type: none">1.  > [ユーザ設定] > [背景イメージ] を選択します。2. スクロールして利用可能な画像を表示し、[選択] を押して画像を選 択します。3. [プレビュー] を押して、背景イメージの拡大表示を確認します。4. [終了] を押して、選択メニューに戻ります。5. [保存] を押して画像を受け入れるか、または [キャンセル] を押し ます。 <p> (注) 選択した画像が表示されない場合、このオプションはシステ ムで無効になっています。</p>
スクリーンの言語を変更する	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P.69 の「ユーザ オ プション Web ページへのアクセス」を参照してください)。2. ユーザ設定にアクセスします (P.75 の「Web でのユーザ設定の制御」 を参照してください)。
回線テキストラベルを変更する	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P.69 の「ユーザ オ プション Web ページへのアクセス」を参照してください)。2. 回線ラベルの設定にアクセスします (P.76 の「Web での回線設定の制 御」を参照してください)。

ボイスメッセージへのアクセス

ボイスメッセージにアクセスするには、 ボタンを押します。



(注) お使いの電話機システムが使用するボイスメッセージサービスは、会社によって決定されず。ボイスメッセージシステムの詳細については、付属のマニュアルを参照してください。

目的	必要な操作または状態の説明
ボイスメッセージサービスの個人設定を行う	<p> を押し、音声の指示に従います。</p> <p>スクリーンにメニューが表示された場合は、該当するメニュー項目を選択します。</p>
新しいボイスメッセージの着信を確認する	<p>次の表示を確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ハンドセットの赤いランプの点灯（このインジケータは異なる場合があります。P.65の「呼出音およびメッセージインジケータのカスタマイズ」を参照してください）。 • メッセージ受信アイコン  の点滅、および電話スクリーンのテキストメッセージ。 <p> (注) 赤いランプとメッセージ受信アイコンは、プライマリ回線にメッセージがある場合にのみ表示されます。プライマリ回線以外でボイスメッセージを受信しても表示されません。</p> <p>次の音を確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コールを発信したときにハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンから聞こえるスタッタ音。 <p> (注) スタッタ音は回線によって異なります。この音はメッセージを受信済みの回線を使用している場合にのみ聞こえます。</p>

目的	必要な操作または状態の説明
ボイス メッセージを聞く、またはボイス メッセージメニューにアクセスする	 を押します。 このボタンを押すと、メッセージ サービスに自動ダイヤルされるか、またはスクリーンにメニューが表示されます。この動作は、お使いのボイスメッセージ サービスによって異なります。
ボイス メッセージ システムにコールを送信する	[即転送] を押します。詳細については、 P.29 の「ボイス メッセージ システムへのコールの送信」 を参照してください。

ユーザ オプション Web ページの使用

Cisco Unified IP Phone は、社内のパーソナル コンピュータなど、他のネットワーク デバイスと情報を共有することのできるネットワーク デバイスです。コンピュータを使用して Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページにログインできます。そのページから、Cisco Unified IP Phone の機能、設定、およびサービスを制御できます。たとえば、ユーザ オプション Web ページから短縮ダイヤル ボタンを設定できます。

ユーザ オプション Web ページへのアクセス

この項では、ログイン方法と電話機デバイスの選択方法について説明します。

目的	必要な操作
ユーザ オプション Web ページにログインする	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプションの URL、ユーザ ID、およびデフォルトのパスワードをシステム管理者から入手します。 2. コンピュータで Web ブラウザを起動し、URL を入力してログインします。 3. セキュリティ設定を受け入れるように求められた場合は、[はい] または [証明書のインストール] をクリックします。 <p>Cisco Unified Communications Manager ユーザ オプションのメイン Web ページが表示されます。このページで [ユーザオプション] を選択すると、ユーザ設定、ディレクトリ機能、個人アドレス帳、およびファーストダイヤルにアクセスできます。</p> <p>または、電話機固有のオプションにアクセスするには、デバイスを選択します (次を参照)</p>

目的	必要な操作
ログイン後にデバイスを 選択する	<p>1. ユーザ オプション Web ページにログインした後に、[ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。</p> <p>[デバイス設定] ページが表示されます。</p> <p>2. 複数のデバイスを割り当てられている場合は、適切なデバイス（電話機のモデル、エクステンション モビリティ プロファイル、またはリモート接続先プロファイル）を [名前] ドロップダウン メニューから選択します。</p> <p> (注) [デバイス設定] ページの最上部に表示されるツールバー ボタンは、選択したデバイスの種類によって異なります。</p>
ログイン後に設定オプションを選択する	<p>1. ユーザ オプション Web ページにログインした後、[ユーザオプション] を選択して、ユーザ設定、ディレクトリ、個人アドレス帳、ファーストダイヤル、およびモビリティ設定にアクセスします。</p> <p>2. 他のページから [デバイス設定] ページに戻るには、[ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。</p>

Web での機能およびサービスの設定

この項では、ログイン後、ユーザ オプション Web ページから機能およびサービスを設定する方法について説明します。ログインについては、P.69 の「[ユーザ オプション Web ページへのアクセス](#)」を参照してください。

Web でのパーソナル ディレクトリの使用方法

ユーザのコンピュータからアクセス可能なパーソナル ディレクトリ機能セットは、次の要素で構成されています。

- Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳)
- ファースト ダイヤル
- Cisco Unified Communications Manager Address Book Synchronizer



(注) PAB およびファースト ダイヤルには、電話機からもアクセスできます。P.62 の「[電話機でのパーソナル ディレクトリの使用方法](#)」を参照してください。

Web での個人アドレス帳の使用方法

この項では、ユーザ オプション Web ページから PAB を使用する方法について説明します。

目的	ログイン後に必要な操作
新規 PAB エントリを追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [個人アドレス帳] を選択します。 2. [新規追加] をクリックします。 3. エントリの情報を入力します。 4. [保存] をクリックします。
PAB エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [個人アドレス帳] を選択します。 2. 検索情報を指定し、[検索] をクリックします。
PAB エントリを編集する	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを検索します。 2. 名前またはニックネームをクリックします。 3. エントリを必要に応じて編集し、[保存] をクリックします。
PAB エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを検索します。 2. 1 つまたは複数のエントリを選択します。 3. [選択項目の削除] をクリックします。

Web でのファーストダイヤルの設定

この項では、ユーザ オプション Web ページからファーストダイヤルを割り当てる方法について説明します。

目的	ログイン後に必要な操作
ファーストダイヤルコードを PAB エントリに割り当てる	<ol style="list-style-type: none">1. PAB エントリを作成します。P.71 の「Web での個人アドレス帳の使用方法」を参照してください。2. [ユーザオプション]>[ファーストダイヤル]を選択します。3. [新規追加]をクリックします。4. [検索オプション]領域を使用して、適切な PAB エントリを検索します。5. [検索結果]領域で電話番号をクリックします。6. 必要に応じて、ファーストダイヤルコードを変更します。7. [保存]をクリックします。
ファーストダイヤルコードを電話番号に割り当てる (PAB エントリを使用しない場合)	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション]>[ファーストダイヤル]を選択します。2. [新規追加]をクリックします。3. 必要に応じて、ファーストダイヤルコードを変更します。4. 電話番号を入力します。5. [保存]をクリックします。
ファーストダイヤル エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション]>[ファーストダイヤル]を選択します。2. 検索情報を指定し、[検索]をクリックします。
ファーストダイヤル電話番号を編集する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション]>[ファーストダイヤル]を選択します。2. 編集するファーストダイヤル エントリを検索します。3. エントリのコンポーネントをクリックします。4. 電話番号を変更します。5. [保存]をクリックします。
ファーストダイヤル エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none">1. ファーストダイヤルを検索します。2. 1 つまたは複数のエントリを選択します。3. [選択項目の削除]をクリックします。

ヒント

- ファースト ダイアルと PAB のエントリは、最大 500 個まで作成できます。
- 新しいファースト ダイアル エントリは、PAB エントリを使用することなく作成できます。このようなファースト ダイアル エントリには、ユーザ オプション Web ページでは、「raw」というラベルが付けられます。設定可能なテキスト ラベルは表示されません。

アドレス帳同期ツールの使用方法

アドレス帳同期ツール (TABSynch) を使用して、既存の Microsoft Windows アドレス帳を (適切な場合は) PAB と同期することができます。それによって、Cisco Unified IP Phone およびユーザ オプション Web ページで、Microsoft Windows アドレス帳のエントリにアクセスできるようになります。システム管理者は、TABSynch へのアクセスおよび使用方法の詳しい説明を提供できます。

Web での短縮ダイヤルの設定

設定に応じて、電話機で、複数の短縮ダイヤル機能をサポートできます。

- 短縮ダイヤル ボタン
- 固定短縮ダイヤル
- ファースト ダイアル



(注) 短縮ダイヤル機能の使用方法については、P.38 の「短縮ダイヤル」を参照してください。

目的	ログイン後に必要な操作
短縮ダイヤル ボタンを設定する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 2. [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。 3. [短縮ダイヤル] をクリックします。 4. 電話機の短縮ダイヤル ボタン (プログラマブル ボタン) の番号とラベルを入力します。 5. [保存] をクリックします。
	 <p>(注) 電話機では ASCII ラベル フィールドが使用されます。</p>

目的	ログイン後に必要な操作
固定短縮ダイヤルを設定する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 2. [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。 3. [短縮ダイヤル] をクリックします。 4. 固定短縮コードの番号とラベルを入力します。 5. [保存] をクリックします。
ファーストダイヤルを設定する	<p>P.72 の「Web でのファーストダイヤルの設定」を参照してください。</p> <p>ファーストダイヤルは、電話機からも設定できます。P.62 の「電話機でのパーソナルディレクトリの使用方法」を参照してください。</p>

Web での電話機サービスの設定

電話機サービスには、特殊な電話機の機能、ネットワーク データ、Web ベースの情報（株式相場や映画情報など）が含まれます。電話機で電話機サービスにアクセスする前に、まず電話機サービスに登録する必要があります。

目的	ログイン後に必要な操作
サービスに登録する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 2. [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。 3. [電話サービス] をクリックします。 4. [新規追加] をクリックします。 5. ドロップダウン リストからサービスを選択し、[次へ] をクリックします。 6. サービス ラベルを変更します。また、使用可能な場合は、追加のサービス情報を入力します（オプション）。 7. [保存] をクリックします。
サービスを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [電話サービス] をクリックします。 3. [検索] をクリックします。
サービスを変更または解除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. サービスを検索します。 2. 1 つまたは複数のエントリを選択します。 3. [選択項目の削除] をクリックします。

目的	ログイン後に必要な操作
サービス名を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. サービスを検索します。 2. サービス名をクリックします。 3. 情報を変更し、[保存]をクリックします。
サービスを電話機の使用可能なプログラマブルボタン  に追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション]>[デバイス]を選択します。 2. [名前]ドロップダウンメニューから電話機を選択します。 3. [サービスURL]をクリックします。 <p> (注) このオプションが表示されない場合は、電話機のサービスURLボタンの設定をシステム管理者に依頼してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. [ボタンサービス]ドロップダウンリストからサービスを選択します。 5. サービスの名前を変更する場合は、ラベルフィールドを編集します。 <p> (注) 2バイト文字セットをサポートしていない電話機は、ASCIIラベルフィールドを使用します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 6. [保存]をクリックします。 7. [リセット]をクリックして、電話機をリセットします(新しいボタンラベルを電話機に表示するために必要です)。
電話機からサービスにアクセスする	 を選択します。

Web でのユーザ設定の制御

ユーザ設定には、パスワード、PIN、および言語(ロケール)の設定が含まれます。

目的	ログイン後に必要な操作
パスワードを変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション]>[ユーザ設定]を選択します。 2. [ブラウザのパスワード]領域に情報を入力します。 3. [保存]をクリックします。
PIN を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション]>[ユーザ設定]を選択します。 2. [電話のPIN]領域に情報を入力します。 3. [保存]をクリックします。

目的	ログイン後に必要な操作
ユーザ オプション Web ページの言語（ロケール）を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [ユーザ設定] を選択します。 2. [ユーザロケール] 領域で、[ロケール] ドロップダウン リストから項目を選択します。 3. [保存] をクリックします。
電話スクリーンの言語（ロケール）を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [ユーザ設定] を選択します。 2. [ユーザロケール] ドロップダウン リストから項目を選択します。 3. [保存] をクリックします。

ヒント

PIN とパスワードは、さまざまな機能やサービスにアクセスするために使用します。たとえば、PIN は、電話機で Cisco エクステンション モビリティまたはパーソナル ディレクトリにログインするために使用します。パスワードは、パーソナル コンピュータでユーザ オプション Web ページおよび Cisco WebDialer にログインするために使用します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

Web での回線設定の制御

回線の設定は、電話機の特定の電話回線（電話番号）に影響します。回線の設定には、コール転送、ボイスメッセージのインジケータ、呼出音のパターン、回線ラベルなどが含まれます。

電話機で他の回線の設定値を直接設定できます。次の設定が可能です。

- プライマリ電話回線のコール転送を設定する：[P.30 の「別の電話番号へのコール転送」](#)を参照してください。
- 呼出音、表示、および他の電話機モデルに固有の設定を変更する：[P.65 の「電話機の設定の変更方法」](#)を参照してください。

目的	ログイン後に必要な操作
回線ごとのコール転送を設定する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 2. [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。 3. [回線の設定] をクリックします。 4. 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、[回線] ドロップダウン メニューから回線を選択します。 5. [着信コールの転送] 領域で、コール転送設定を選択して、さまざまな条件を設定します。 6. [保存] をクリックします。

目的	ログイン後に必要な操作
回線ごとにボイス メッセージのインジケータ (ランプ) の設定を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 2. [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。 3. [回線の設定] をクリックします。 4. 電話機に割り当てられている電話番号 (回線) が複数ある場合は、[回線] ドロップダウン メニューから回線を選択します。 5. [メッセージ受信ランプ] 領域で、さまざまな設定から選択します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> (注) 通常、デフォルトのメッセージ受信設定では、電話機でハンドセットのライト ストリップの赤いランプが点灯することにより、新しいボイス メッセージがあることを示します。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 6. [保存] をクリックします。
回線ごとにオーディオ ボイス メッセージ インジケータ の設定を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 2. [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。 3. [回線の設定] をクリックします。 4. 電話機に割り当てられている電話番号 (回線) が複数ある場合は、[回線] ドロップダウン メニューから回線を選択します。 5. [オーディオメッセージ受信インジケータ] 領域で、さまざまな設定から選択します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> (注) 通常、デフォルトのメッセージ受信設定では、電話機でハンドセットのライト ストリップの赤いランプが点灯することにより、新しいボイス メッセージがあることを示します。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 6. [保存] をクリックします。

目的	ログイン後に必要な操作
電話スクリーンに表示される回線テキストラベルを変更または作成する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 2. [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。 3. [回線の設定] をクリックします。 4. 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、[回線] ドロップダウン メニューから回線を選択します。 5. [回線のテキストラベル] 領域に、テキストラベルを入力します。 6. [保存] をクリックします。  <p>(注) 2 バイト文字セットをサポートしていない電話機は、ASCII ラベル フィールドを使用します。</p>

モバイル コネクト用の電話機とアクセス リストの設定

Cisco Mobile Connect を使用する場合、デスクの電話機と同じ電話番号を使用してコールの発信や受信ができるよう、携帯電話や他の電話機を追加する必要があります。これらの電話機を *リモート接続先* といいます。また、アクセス リストを定義して、特定の番号からのコールが携帯電話に送信されるのを制限または許可することもできます。

目的	ログイン後に必要な操作
アクセス リストを作成する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [モビリティの設定] > [アクセスリスト] を選択します。 2. [新規追加] をクリックします。 3. 次の情報を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> - [名前]: アクセス リストを識別します。 - [説明]: アクセス リストの説明です。 4. 次のいずれかのオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> - [拒否アクセスリスト]: ブロックする番号のリストを作成します。 - [許可アクセスリスト]: 許可する番号のリストを作成します。 5. [保存] をクリックします。

目的	ログイン後に必要な操作
アクセス リストにメンバを追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクセス リストを作成します。 2. [メンバの追加] をクリックし、電話番号またはフィルタをリストに追加します。 3. [フィルタマスク] ドロップダウン リスト ボックスからオプションを選択します。電話番号、制限付きの発信者 ID (使用不可) が表示されたコール、または匿名の発信者 ID (非通知) が表示されたコールをフィルタリングできます。 4. [フィルタマスク] ドロップダウン リスト ボックスから電話番号を選択する場合、[DN マスク] フィールドに電話番号またはフィルタを入力します。フィルタの定義には、次のワイルドカードが使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> - X (大文字または小文字): 数字 1 字に一致します。たとえば、408555123X は 4085551230 から 4085551239 までのすべての番号に一致します。 - !: 任意の桁の数字に一致します。たとえば、408! は 408 で始まるすべての番号に一致します。 - #: 完全一致する数字 1 字として使用します。 5. アクセス リストにこのメンバを追加するには、[保存] をクリックします。 6. アクセス リストを保存するには、[保存] をクリックします。

目的	ログイン後に必要な操作
新しいリモート接続先を追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [モビリティの設定] > [リモート接続先] を選択します。 2. [名前] ドロップダウン リスト ボックスからデバイスを選択します。 3. [リモート接続先] をクリックします。 4. [新規追加] をクリックします。 5. 次の情報を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> - [名前]: 携帯電話（または他の電話機）の名前を入力します。 - [着信先番号]: 携帯電話の番号を入力します。 - [最短応答タイマー]: リモート接続先でコールに応答できるまでの時間を入力します（ミリ秒）。 - [最長応答タイマー]: それ以上経過するとリモート接続先でコールに応答できなくなる時間を入力します（ミリ秒）。 - [呼び出し前の遅延タイマー]: リモート接続先でコールの呼出音が鳴るまでの時間を入力します（ミリ秒）。 - [リモート接続先プロファイル]: リモート接続先のプロファイルを選択します。このプロファイルには、すべてのリモート接続先に適用される設定値が含まれます。 - [許可アクセスリスト]: デスクの電話機にコールが着信したときに携帯電話で呼出音が鳴るようにする電話番号またはルールを選択します。許可アクセスリストと拒否アクセスリストは、いずれか一方を選択します。両方は選択できません。 - [拒否アクセスリスト]: デスクの電話にコールが着信したときに携帯電話で呼出音が鳴らないようにする電話番号またはルールを選択します。許可アクセスリストと拒否アクセスリストは、いずれか一方を選択します。両方は選択できません。 - [携帯電話]: デスクトップの電話機から発信されたコールを携帯電話で受信する場合に選択します。 - [モバイルコネクットの有効化]: デスクトップの電話機と同時に携帯電話の呼出音を鳴らす場合に選択します。 - [スマートクライアントインストール済み]: 設定しているリモート接続先がスマートフォンの場合に選択します。 6. [保存] をクリックします。

Cisco WebDialer の使用方法

Cisco WebDialer を使用すると、Web ブラウザで項目をクリックすることで、ディレクトリ連絡先へのコールを Cisco Unified IP Phone で発信できます。システム管理者は、この機能を設定する必要があります。

目的	必要な操作または状態の説明
ユーザ オプション ディレクトリで WebDialer を使用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします。P.69 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください。 2. [ユーザオプション]>[ディレクトリ]を選択し、同僚を検索します。 3. ダイヤルする番号をクリックします。 4. WebDialer を初めて使用する場合は、初期設定を行い、[送信]をクリックします（詳細については、この表の最後の項目を参照）。 5. コールの開始ページが表示された場合は、[ダイヤル]をクリックします（今後このページを表示しないようにする方法については、この表の最後の項目を参照）。 これで電話機からコールが発信されます。 6. コールを終了するには、[コールの終了]をクリックするか、電話機から切断します。
別のオンライン社内ディレクトリ（ユーザのユーザ オプション ディレクトリではないもの）で WebDialer を使用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. WebDialer が有効な社内ディレクトリにログインし、同僚を検索します。 2. ダイヤルする番号をクリックします。 3. プロンプトが表示されたら、ユーザ ID とパスワードを入力します。 4. WebDialer を初めて使用する場合は、初期設定を行い、[送信]をクリックします（詳細については、この表の最後の項目を参照）。 5. コールの開始ページが表示された場合は、[ダイヤル]をクリックします（今後このページを表示しないようにする方法については、この表の最後の項目を参照）。 これで電話機からコールが発信されます。 6. コールを終了するには、[コールの終了]をクリックするか、電話機から切断します。

目的	必要な操作または状態の説明
WebDialer からログアウトする	コールの開始ページまたはコールの終了ページのログアウト アイコンをクリックします。
WebDialer の初期設定を設定、表示、または変更する	<p>[初期設定] ページにアクセスします。</p> <p>[初期設定] ページは、WebDialer を初めて使用するとき (ダイヤルする番号をクリックした後) に表示されます。</p> <p>後で [初期設定] に戻るには、コールの開始ページまたはコールの終了ページの初期設定アイコンをクリックします。</p> <p>[初期設定] ページには、次のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [優先する言語]: WebDialer の設定およびプロンプトで使用する言語を指定します。 • [常設の電話を使う]: WebDialer コールを発信するときに使用する Cisco Unified IP Phone および電話番号 (回線) を特定します。1 本の回線を持つ電話機を 1 台だけ使用している場合は、適切な電話機と回線が自動的に選択されます。それ以外の場合は、電話機または回線、あるいはその両方を選択します。電話機は、ホスト名を使用して指定します (電話機のホスト名を表示するには、 > [ネットワークの設定] > [ホスト名] を選択します)。 • [エクステンションモビリティを使用する]: 選択した場合、WebDialer では、エクステンション モビリティ プロファイル (使用可能な場合) と関連付けられた Cisco Unified IP Phone が使用されます。 • [コールの確認ダイアログを表示しない]: 選択した場合、WebDialer がコールの開始ページを表示しないように要求されます。デフォルトでは、このページは、WebDialer が有効なオンライン ディレクトリの電話番号をクリックした後に表示されます。

その他の設定オプションについて

システム管理者は必要に応じて、特別なサービスや機能のほかに、特別なボタンやソフトキーのテンプレートを使用するように電話機を設定できます。次の表は、設定オプションの概要について説明しています。コールの需要や作業環境に応じたオプションの設定について、電話機のシステム管理者と相談するときに役立ちます。



(注) この表に記載されている電話ガイドやその他のマニュアルには、
http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/tsd_products_support_series_home.html からアクセスできます。日本語版マニュアルを参照する場合は、次の URL にアクセスしてください。
http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/index_ipp_shtml

目的または状態	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
回線が処理できるコール数を増やす必要がある	回線がサポートするコール数を増やすように、システム管理者に設定を依頼します。	システム管理者または電話機のサポートチームにお問い合わせください。
電話回線が1本では足りない	追加の電話番号の設定をシステム管理者に依頼します。	システム管理者または電話機のサポートチームにお問い合わせください。
短縮ダイヤルボタンが足りない	まず、現在利用可能な短縮ダイヤルボタンをすべて使用しているかどうかを確認します。 追加の短縮ダイヤルボタンが必要な場合は、固定短縮ダイヤル機能の使用またはファーストダイヤルサービスへの登録を検討してください。 または、Cisco Unified IP Phone 7914 拡張モジュールを電話機に接続してください。	参照先 <ul style="list-style-type: none"> 短縮ダイヤル (P.38) 『Cisco Unified IP Phone 拡張モジュール 7914 電話ガイド』(SCCP 電話機のみ)

目的または状態	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
秘書と仕事をしている、または自分が秘書である	<p>次の機能の導入を検討してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified Communications Manager Assistant • 共有回線 	<p>参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> • 共有回線の使用 (P.43) • 『Cisco Unified Communications Manager Assistant ユーザガイド』
1つの内線を複数の電話機で使用する	<p>共有回線が必要です。共有回線を使用することで、たとえば1つの内線番号をデスクの電話機と実験室の電話機で使うことができます。</p>	<p>P.43の「共有回線の使用」を参照してください。</p>
電話機やオフィススペースを同僚と共有している	<p>次の機能の導入を検討してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コールパーク：転送機能を使用せずにコールを保存、および取得できます。 • コールピックアップ：別の電話機で鳴っているコールに応答できます。 • 共有回線：同僚のコールを表示、またはそのコールに参加できます。 • Cisco エクステンション モビリティ：自分の電話番号とユーザプロフィールを共有の Cisco Unified IP Phone に適用できます。 	<p>これらの機能については、システム管理者にお問い合わせください。また、次の説明を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 応用的なコール処理 (P.38) • 共有回線の使用 (P.43) • Cisco エクステンション モビリティの使用 (P.51)
頻繁にコールに応答する、または他の人の代理でコールを処理する	<p>電話機の自動応答機能を設定するように、システム管理者に依頼します。</p>	<p>P.56の「自動応答の使用」を参照してください。</p>
ビデオ コールを発信する必要がある (SCCP 電話機のみ)	<p>Cisco Unified Video Advantage の使用を検討します。この機能を使用すると、Cisco Unified IP Phone、コンピュータ、および外部のビデオ カメラを使用してビデオ コールを発信できます。</p>	<p>詳細についてはシステム管理者にお問い合わせください。また、『Cisco Unified Video Advantage クイックスタートガイド』および『Cisco Unified Video Advantage ユーザガイド』を参照してください。</p>

目的または状態	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
電話機の短縮ダイヤル ボタン、履歴、またはディレクトリのリストと関連付けられた電話回線の状態を判断する	電話機の Busy Lamp Field(BLF; ビジーランプ フィールド)を設定するように、管理者に依頼します。	P.47 の「 BLF の使用による回線の状態の判断 」を参照してください。
自分の電話番号と設定を共有の Cisco Unified IP Phone に一時的に適用する	Cisco エクステンション モビリティ サービスについてシステム管理者に問い合わせます。	P.51 の「 Cisco エクステンション モビリティの使用方法 」を参照してください。

電話機のトラブルシューティング

この項では、ご使用の Cisco Unified IP Phone に関するトラブルシューティング情報を示します。

一般的なトラブルシューティング

この項では、ご使用の電話機に関する一般的な問題のトラブルシューティングに役立つ情報を示します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

症状	説明
ダイヤル音が聞こえない、またはコールを完了できない	次の状況の 1 つまたは複数当てはまります。 <ul style="list-style-type: none">• エクステンション モビリティ サービスにログインする必要があります。• 電話番号をダイヤルした後で、Client Matter Code (CMC; クライアントマターコード) または Forced Authorization Code (FAC) を入力する必要があります (SCCP 電話機のみ)。• 電話機に時間帯制限が設定され、特定の時間帯に一部の機能を使用できなくなっています。
設定ボタンが反応しない	システム管理者が電話機で  を無効にしている可能性があります。
使用したいソフトキーが表示されない	次の状況の 1 つまたは複数当てはまります。 <ul style="list-style-type: none">• その他のソフトキーを表示させるために [次へ] を押す必要があります。• 回線の状態を変更する必要があります (オフフックにする、または接続コールにするなど)。• 電話機が、ソフトキーに関連付けられている機能をサポートするように設定されていません。
[割り込み] が失敗し、速いビジー音が聞こえる	使用している電話機に暗号化機能が設定されていない場合、暗号化されたコールには割り込みできません。この理由によって割り込みの試行が失敗すると、電話機で速いビジー音が聞こえます。
[割り込み] を使用して参加したコールが切断される	[割り込み] を使用して参加したコールが保留状態になるか、転送されるか、または会議コールに切り替えられた場合は、そのコールから切断されません。

症状	説明
Cisco CallBack が失敗する	通話相手がコール転送を有効にしている可能性があります。

電話機の管理データの表示

システム管理者が、トラブルシューティングの目的で、電話機の管理データへのアクセスを指示する場合があります。

目的	必要な操作または状態の説明
ネットワーク構成データにアクセスする	 > [ネットワークの設定] を選択し、表示するネットワーク構成項目を選択します。
ステータス データにアクセスする	 > [ステータス] を選択し、表示するステータス項目を選択します。
電話機のモデル情報にアクセスする	 > [モデル情報] を選択します。
電話機のコールおよび音声品質情報にアクセスする	 > [ステータス] > [コールの統計] を選択します。

Quality Reporting Tool の使用方法

パフォーマンスに関する問題をトラブルシューティングするために、システム管理者により一時的に、電話機に Quality Reporting Tool (QRT) が設定されることがあります。[品質] または [品質レポートツール] を押して、システム管理者に情報を送信することができます。設定に応じて、次のように QRT を使用します。

- 現在のコールのオーディオに関する問題をすぐにレポートします。
- カテゴリのリストから一般的な問題を選び、理由コードを選択します。

シスコ製品（ハードウェア）に関する 1年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。シスコのソフトウェアに適用される保証とライセンス契約を含む正式な保証書は、Cisco.com から参照できます。次の手順を実行して Cisco.com から *Cisco Information Packet* および保証とライセンス契約にアクセスし、これらをダウンロードしてください。

1. ブラウザを起動し、次の URL に進みます。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es_inpkc/cetrans.htm

Warranties and License Agreements ページが表示されます。

2. *Cisco Information Packet* を表示するには、次の手順を実行します。

- a. **Information Packet Number** フィールドをクリックし、製品番号 78-5235-03A0 が選択されていることを確認します。
- b. 文書を表示する言語を選択します。
- c. **Go** をクリックします。

Information Packet の Cisco Limited Warranty and Software License ページが表示されます。

- d. このページから文書をオンラインで見るとも、**PDF** アイコンをクリックして、文書を PDF (Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。



(注) PDF ファイルを表示し、印刷するには、Adobe Acrobat Reader が必要です。これは、Adobe の Web サイト <http://www.adobe.com> からダウンロードできます。

3. お手持ちの製品について、翻訳またはローカライズされた保証情報を表示するには、次の手順を実行します。

- a. **Warranty Document Number** フィールドに、次の製品番号を入力します。
78-10747-01C0
- b. 文書を表示する言語を選択します。
- c. **Go** をクリックします。

Cisco warranty ページが表示されます。

- d. このページから文書をオンラインで見るとも、**PDF** アイコンをクリックして、文書を PDF (Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。

また、Cisco Service and Support の Web サイトにアクセスして、サポートを受けることもできます。

http://www.cisco.com/public/Support_root.shtml

ハードウェア保証期間

1 年間

ハードウェアに関する交換、修理、払い戻しの手順

シスコ、またはその代理店では、Return Materials Authorization (RMA) 要求を受領してから、10 営業日以内に交換部品を出荷するように商業上合理的な努力を致します。お届け先により、実際の配達所要日数は異なります。

シスコは購入代金を払い戻すことにより一切の保証責任とさせて頂く権利を留保します。

Return Materials Authorization (RMA) 番号の入手

製品を購入されたシスコの代理店にお問い合わせください。製品を直接シスコから購入された場合は、シスコの営業担当者にお問い合わせください。

次の項目を記入して、参照用に保管してください。

製品の購入先	
購入先担当者の電話番号	
製品モデル番号	
製品シリアル番号	
メンテナンス契約番号	

Index

A

ASCII ラベル フィールドのサポート 73

B

BLF 47

C

Cisco Unified Communications Manager Address Book Synchronizer 73

Cisco Unified IP Phone

接続 4

登録 6

~のオンライン ヘルプ 16

~の機能の設定 16, 83

~の図 9

~の説明 8

~の高さの調節 6

ハンドセット受け台の確実な取り付け 5

~用 Web ベースのサービス 69

Cisco Unified Video Advantage 84

Cisco WebDialer

「WebDialer」も参照 81

CMC 21

F

FAC 21

Forced Authorization Code 21

G

G ピック 40

M

Meet-Me 会議 34

MLPP、使用 49

P

PAB 60

Web ページでの使用 71

PIN、変更 75

Q

QRT、使用方法 87

Quality Reporting Tool 87

T

TABSynch 73

TAPS、使用 6
Tool for Auto-Registered Phones Support 6

U

URL ダイアル、履歴から 59

W

Web ベースのサービス

設定 69

「ユーザ オプション Web ページ」も参照

WebDialer 20

あ

アイコン

回線の 12

コールの状態を示す 12

アイドル 13

アドレス帳同期ツール 73

暗号化されたコール 48

安全、警告 2

安全な会議 35

安全なコール 48

い

インストール、Cisco Unified IP Phone 4

インターコム コール 36

インターコム回線 13

う

ウィスパー 13

え

エクステンション モビリティ

ログアウト 51

ログイン 51

お

応答、コールへの、~のオプション 22

オーディオ、~の品質 7

オーディオに関する問題 87

音

「オーディオ、~の品質」を参照 7

オンフック ダイアル 19

オンライン ヘルプ、使用 16

音量ボタン、説明 11

か

会議コール

Meet-Me 34

~からの参加者の削除 35

~の参加者の表示 35

~のセキュリティレベル 35

~のタイプ 32

回線

アイコン 12

~と BLF の使用 47

~とコール転送 30, 76

~とコールの状態 12

- ～の説明 12
- ～のテキストラベル 76
- ～のボイスメッセージインジケータの設定 76
- ～の呼出音のパターン 76
- 表示 12
- 回線ボタン、識別 10
- カスタマイゼーション
 - メッセージ 67
- き
- キーパッド
 - ～の説明 11
- 機能、～のアベイラビリティ 16, 83
- 機能ボタン
 - サービス 11
 - 設定 11
 - ヘルプ 11
 - メッセージ 10
- 機能メニュー、使用方法 16
- 共有回線
 - ～とリモートで使用中のアイコン 43
 - ～の説明 43
 - プライバシーの使用 46
 - 割り込みの使用 44
- 切り替え、コールの 25
- く
- クライアントマターコード 21
- グループコールピックアップ、使用方法 40
- け
- 警告、安全 2
- 言語（ロケール）設定 75
- こ
- コール
 - 安全な 48
 - 応答 22
 - 回線ごとの最大数 12
 - 回線との違い 12
 - サイレントの使用 31
 - 終了 23
 - 転送 28, 30, 76
 - ～のアイコン 12
 - ～の会議機能 32
 - ～の複数の通話相手 32
 - ～の問題のレポート 87
 - パーク 41
 - 発信 18
 - 表示 12, 25
 - 複数、～の切り替え 25
 - 複数の処理 25
 - 複数の表示 27
 - ブロック 31
 - 保存と取得 41
 - 保留と復帰 24
 - ミュート 25
 - 優先順位付け 49
 - 呼び出し中のリダイレクト 39
 - 割り込み 44
- コールアクティビティ領域、表示 12
- コールピックアップ、使用方法 39

コール ウェイティング	22	ステータス行、表示	12
コール処理、応用的な	38	スピーカフォン	
コール処理、基本的な	18	~で応答	22
コール転送		ボタン、識別	11
Web ページでの設定	76	モード	54
電話機で設定	30	~を使用中に切断	23
コールパーク	41		
個人アドレス帳		せ	
「PAB」を参照	62	セキュリティ	
個人アドレス帳 (PAB)		安全なコールの送受信	48
~からダイヤル	21	~のレベル	48
個人アドレス帳、「PAB」を参照		ノンセキュア コールの確認	48
固定短縮ダイヤル	73	接続済み	13
		切断、~のオプション	23
		設定	
		オプション	83
		設定ボタン、説明	11
さ			
サービス、~への登録	74	そ	
サービス ボタン、説明	11	ソフトキー ボタン	
サイレント	31	~の説明	11
		~のラベル	12
し		た	
自動応答	56	他 Grp	40
自動ダイヤル	19	ダイヤル、~のオプション	18
社内ディレクトリ		ダイレクト コールパーク	41
電話機で使用	20	タブ、電話および機能	14
~の Web ページからダイヤル	20	短縮ダイヤル	38
終了、コールの、~のオプション	23	使用方法	20
詳細ソフトキー、~でのマルチパーティ コールの表示	58, 59	設定	73
す			
ステータス データ、~へのアクセス	86		

- ボタン、特定 10
- ラベル 12, 73

- ち
- 着信履歴、~のレコード 57
- 直接転送 28

- て
- ディレクトリ
 - 社内 60
 - 電話機で使用 20, 57
 - ~の Web ページからダイヤル 20
 - パーソナル 60
- テキスト、電話機への入力 16
- デバイス設定ページ 70
- 転送、コールの、~のオプション 30
- 転送、~のオプション 28
- 電話回線
 - ~の説明 12
 - ~のボタン 10
 - 表示 12
- 電話機サービス
 - 設定
 - 「ユーザ オプション Web ページ」も参照
- 電話スクリーン
 - クリーニング 15
 - ~の機能 12
 - ~の言語の変更 66
 - ~のコントラストの調節 66

- と
- 登録、電話機サービスの 74
- トラブルシューティング 86
 - 「品質」も参照 86

- な
- 内線番号、表示 12
- ナビゲーション ボタン、説明 11

- に
- 認証されたコール 48

- ね
- ネットワーク構成データ、~へのアクセス 86

- は
- パーク取得プレフィクス 41
- パーソナルディレクトリ
 - Web ページでの使用 71
- パスワード、変更 75
- 発信、コールの、~のオプション 18
- 発信者 ID 14
- 発信履歴、~のレコード 57
- ハントグループ、ログアウト 42
- ハンドセット
 - 受け台への確実な取り付け 5
 - 使用方法 54
 - ライトストリップ 11

ひ

ビジー ランプ フィールド

「BLF」を参照 47

ピック 39

品質 87

ふ

ファースト ダイアル

Web ページでの設定 72

ファースト ダイアル サービス

~を使用してダイアル 21

複数のコール、処理 25

不在履歴、~のレコード 57

不審なコール、トレース 49

復帰、使用 24

フックスイッチクリップ、取り外し 5

フットスタンド

調節 6

ボタン、識別 10

プライバシー

使用方法 46

~と共有回線 43

プログラマブル ボタン

~の説明 10

~のラベル 12

へ

ヘッドセット

オーディオの品質 7

購入 55

~で応答 22

ボタン、識別 11

モード 54

~を使用中に切断 23

ヘッドセットのパフォーマンス、全般 6

ヘルプ、使用 16

ヘルプ ボタン、説明 11

ほ

ボイス メッセージ サービス 67

ボイス メッセージ システムへのコールの転送
29

ボイス メッセージのインジケータ 67

~の設定の変更 76

他のコール ピックアップ、使用方法 40

保留

使用方法 24

~とコールの切り替え 25

~と転送 28

ま

マルチパーティ コール

~の詳細の表示 58, 59

履歴からの特定 58

み

ミュート、使用 25

ミュート ボタン、説明 11

め

迷惑呼 ID (MCID)、使用 49

- メッセージ
 - ～のインジケータ 65, 67
 - ～を聞く 67
- メッセージ ボタン、説明 10
- メニュー、使用方法 16

- ゆ

- ユーザ オプション Web ページ
 - アクセス 69
 - ～での機能およびサービスの設定 71
 - ～での電話機サービスの登録 74
- 優先順位付け、コールの 49

- よ

- 呼出音
 - カスタマイズ 65
 - ～のインジケータ 11
- 呼出音のパターン、変更 76

- り

- リダイヤル 18
- リモートで使用中のアイコン、共有回線の 43
- 履歴
 - 削除 57
 - ～にある URL エントリからのダイヤル 59
 - 表示とダイヤル 57

- ろ

- ログアウト、ハントグループからの 42

- わ

- ワイドバンド ハンドセット 54
- 割り込み
 - 使用方法 44
 - ～と共有回線 43
 - ～とプライバシー 46

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses, phone numbers, and fax numbers are listed on the Cisco Website at www.cisco.com/go/offices.

CCVP, the Cisco logo, and the Cisco Square Bridge logo are trademarks of Cisco Systems, Inc.; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn is a service mark of Cisco Systems, Inc.; and Access Registrar, Aironet, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, HomeLink, Internet Quotient, IOS, iPhone, IP/TV, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, iQuick Study, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, Networking Academy, Network Registrar, PIX, ProConnect, ScriptShare, SMARTnet, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, and TransPath are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0709R)

Copyright © 2007 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.



The Java logo is a trademark or registered trademark of Sun Microsystems, Inc. in the U.S. or other countries.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先（シスココンタクトセンター）

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

0120-933-122（通話料無料）、03-6670-2992（携帯電話、PHS）

電話受付時間：平日 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00